浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－1	機械設備工事	特記仕様書	
2	機械設備工事	工事区分表	
3	機械設備工事	工事ローテーション図、参考工程表、付近見取図	1/10000
4	機械設備工事	既設改修　配置図	1/200
5	衛生設備図	新設、撤去　衛生機器リスト	
6	衛生設備図	新設　衛生器具リスト、衛生器具附属品リスト	
7	衛生設備図	既設、撤去、新設　桝リスト	
8	衛生設備図	既設改修　衛生設備系統図	
9	衛生設備図	既設改修　１、２階平面図	1/200
10	衛生設備図	既設改修　3、PHR階、R階平面図	1/200
11	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－１	1/50
12	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－２	1/50
13	衛生設備図	既設改修　１階平面詳細図－３	1/50
14	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－１	1/50
15	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－２	1/50
16	衛生設備図	既設改修　２階平面詳細図－３	1/50
17	衛生設備図	既設改修　３階平面詳細図－１	1/50
18	衛生設備図	既設改修　３階平面詳細図－２	1/50
19	衛生設備図	既設改修　３階平面詳細図－３	1/50
20	衛生設備図	既設改修　R階、ＰＨＲ階平面詳細図	1/50

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－21	衛生設備図	屋内消火栓格納箱詳細図	1/20
22	衛生設備図	保温施工標準図　No. 1	
23	換気、空調設備図	新設、撤去　機器リスト	
24	空調設備図	既設、移設、脱着 空調機器リスト-1	
25	空調設備図	既設、移設、脱着 空調機器リスト-2	
26	空調設備図	既設改修　１、２階平面図	1/200
27	空調設備図	既設改修　3、PHR階、R階平面図	1/200
28	換気設備図	既設改修　１、２階平面図	1/200
29	換気設備図	既設改修　3、PHR階、R階平面図	1/200
30	機械設備工事	既設撤去　配置図	1/200
31	衛生設備図	撤去　衛生器具リスト	
32	衛生設備図	既設撤去　衛生設備系統図	
33	衛生設備図	既設撤去　１、２階平面図	1/200
34	衛生設備図	既設撤去　3、PHR階、R階平面図	1/200
35	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－１	1/50
36	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－２	1/50
37	衛生設備図	既設撤去　１階平面詳細図－３	1/50
38	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－１	1/50
39	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－２	1/50
40	衛生設備図	既設撤去　２階平面詳細図－３	1/50

図　番	図　面　名　称		縮　尺
M－41	衛生設備図	既設撤去　３階平面詳細図－１	1/50
42	衛生設備図	既設撤去　３階平面詳細図－２	1/50
43	衛生設備図	既設撤去　３階平面詳細図－３	1/50
44	衛生設備図	既設撤去　R階、ＰＨＲ階平面詳細図	1/50
45	空調設備図	既設撤去　１、２階平面図	1/200
46	空調設備図	既設撤去　3、PHR階、R階平面図	1/200
47	換気設備図	既設撤去　１、２階平面図	1/200
48	換気設備図	既設撤去　3、PHR階、R階平面図	1/200

長　浜　市

建築事務所 BCY'S

株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

訂正	月　日		月　日		月　日	
	・		・		・	
	・		・		・	
	・		・		・	

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝巳

FILE No.

工事名 浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事 表紙、図面リスト

SCALE 1 : 1 :

M No. 0/48

機械設備工事特記仕様書

工事概要		
工事名称	浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）	
工事場所	滋賀県長浜市内保町６２７	
工事期間・限	工事請負契約書に依る。	
工事概要説明	本工事は、浅井中学校南校舎長寿命化改修工事に伴う機械設備工事一切を行う。	

※該当工事には適用欄に○印を附す。

適用	No	工事種目	工種 新設	工種 改修	備考
○	1	受水設備		○	
○	2	給水設備		○	
○	3	排水通気設備		○	
○	4	衛生器具設備		○	
○	5	ガス設備		○	
○	6	消火設備		○	
○	7	給湯設備		○	
	8	し尿浄化槽設備			
○	9	換気設備		○	
	10	排煙設備			
	11	暖房設備			
	12	冷房設備			
○	13	空気調和設備		○	
	14	特殊配管設備			
○	15	撤去工事		○	撤去

別途工事　建築工事、電気設備工事

⊙工事区分表による。

機械設備工事仕様書

1．図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共機械設備工事標準仕様書、同改修工事標準仕様書および同設備工事標準図の最新版機械設備工事編（以下、「標準仕様書」という）による。

2．項目は、○印の付いたものを適用する。

建物概要

No	名称	構造	階数	延面積（㎡）	棟数	備考
1	長寿命化改修工事	RC	3	4,772.99	1	改修
	第１期工事分	RC	3	(2,380.92)	1	改修
	第２期工事分	RC	3	(2,392.07)	1	改修
	計			4,772.99		

一般共通事項

項目	特記事項
適用項目	一般共通事項の扱いは、※印を付したものを適用する。
※ 1 施工基準	イ　本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面1式及び標準仕様書により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。 ロ　必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。 ハ　本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。 ニ　建築設備耐震設計施工指針及びその他関係諸法規に基づき完全に施工する。
※ 2 監理指針	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事監理指針（最新版）に準ずる
※ 3 施工監理チェックリスト	施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工監理チェックリストに従う。
※ 4 完成図	完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、CAD原図(CADデータ共)および焼付製本(A1:2部,A3:1部)を提出する。
※ 5 工事写真	工事管理写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用するデジタルカメラの総画素数は、200万画素以上、記録画素数は640x480画素以上とする。
※ 6 現場代理人	イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。 ロ　現場代理人は、請負人との直接的な雇用関係を証するもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。 ハ　主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ　現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。
※ 7 技術管理	受注者は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。 ①　技術者の専任を要しない期間 ~~・請負契約の締結後日から平成　年　月　日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任は要しない。~~ ⊙　請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
8 技能士	適用工事種別　・配管施工：１級　・熱絶縁施工：１級 ・冷凍・空気調和機施工：１級　・建築板金施工
※ 9 市内下請業者・市内材料調達の促進について	1. 市発注の機械設備工事等の施工にあたり、下請契約する場合は、できる限り本市に本店を有する業者へ発注するよう努めてください。その場合、適正な価格で請け負わせ、下請代金は適正な期間内に支払うこと等、下請契約及び下請代金支払いの適正化に努めてください。 2. 工事施工に必要な建設用資材や建設機械を購入又は借入れする場合は、極力地場調達されるなど、施工にあたってのご配慮をお願いします。
※ 10 検査合格書等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。
※ 11 建築工事との取合い	コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。
※ 12 既存設備関係	施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。
※ 13 公害対策	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。
※ 14 産業廃棄物の処理	受注者は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。 ①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）を遵守し、分別解体及び再資源化等を実施すること。また、着工前の同法第１１条の「通知」は受注者が提出のこと。 ②「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し速やかに報告のこと。 ③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法１２条の3によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。
15 発生材の処理	引渡を要するもの:
※ 16 保険等	受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。
17 監督職員事務所	規模　・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　・設けない 備品　机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、請負者加入電話の子機、衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。
※ 18 安全対策	工事車輌の出入りについては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講ずること。また、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。
※ 19 統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第３０条第２項の統括安全衛生管理義務者には、（(建築工事) 電気設備工事　機械設備工事　）の受注者を指名する。
※ 20 創意工夫等実施状況	受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができる。 ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献(以下「創意工夫等」という）に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に請負人から自主的に創意工夫等にかかる資料が監督職員あて提出され、それらの項目が創意工夫等に該当すると判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。
※ 21 別途工事との連絡協議	受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。
※ 22 シンナー等の保管管理	シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。
※ 23 フロンの回収等	冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、工法を用いないこと。
※ 24 工事カルテの作成・登録	受注者は、工事請負代金　500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた後、財団法人日本情報総合センター(JACIC)に登録するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。 （1）受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。 （2）竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。 （3）受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行うこと。
※ 25 工事関係車両の電波法遵守	受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員にその旨報告する。
※ 26 過積載の防止措置	受注者は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を順守する旨を記載した施工計画書を提出し徹底を図ること。
27 技術検査	工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。
※ 28 施工上の留意事項等	イ　液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。 ロ　液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。 ハ　液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること(記録紙および検査写真を提出すること)。 ニ　給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする(継手指定品を除く)。 ホ　地中埋設の鋼管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めする。 ヘ　建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は標準仕様書の屋内配管の支持要領に準ずる。 ト　暖房給湯設備における試運転用油量は、オイルストレージタンクの1/3以上とする。 チ　空気調和設備における仕切弁については、100A以上はバタフライ弁(JIS10K)とする。 リ　排水桝、汚水桝、浄化槽と硬質塩化ビニル管の接続部は砂付き加工の工場製品を使用し、漏水防止を図る。 ヌ　機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。 ル　機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。 ヲ　風量調整ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場製作品とし、(財)日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。 ワ　配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工必要箇所には自動空気抜き弁を取付ける。 カ　保温工事については、極力滋賀県保温保冷事業協同組合員等県内業者とする。 ヨ　当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また撤去工事は特に既設配管の行先を確認の上、安全に処理する。 タ　グリーン購入法に基づき環境負荷の低減に努めること。
※ 29 電子納品	竣工時、工事の概要および機器台帳を建築課所定の様式により電子媒体で提出すること。
※ 30 暴力団員等による不当介入の排除	市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通報制度」の徹底について） 1 受注者（請負人または受注者）は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求または業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 2 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。 3 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
※ 31 製本図書	落札業者は工事に先立ち、下記に示す製本図書を作成し提出すること。 ※製本図書（A1）及びA3縮小製本（表紙及び背にタイトルを入れる事。）部数：Ａ１×１部、Ａ３×５部 配布先：浅井中学校、長浜市教育委員会、監理事務所（建築用・設備用）、現場用
※ 32 既存適用事項	本工事に於いて既設設備との接続関連工事が生じるが為、既設設備の機能を停止して接続工事等が生じるがその工事期間においては施設側と充分に協議して施設運営に支障が発生無きよう配慮する事とし、又既設設備の機能を低下させては成らない。尚、工事施工に当たっては監督員の指示に従い他工事との関連を考慮して支障が生じないように施工すること。 （給水管、ガス管あり）
※ 33 現場の調整	工事のスケジュール調整の為の連絡調整一切を含む。 既設建物解体に支障のない程度の機器及び配管類の撤去を行う。 また、各種添付図面は参考図、参考数量とし施工範囲等は十分に現地確認を行うこと。
※ 34 その他	自主検査及び立会の監督職員諸費用は全て本工事に含む。電力会社及び各諸官庁への申請手続き及び諸費用も全て本工事に含む。
※ 35 石綿含有建材の調査	・大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき実施すること。 ・石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規定に規定する建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するように努めること。なお、令和5年10月1日以降に解体・改修工事に着手する場合は、建築物石綿含有建材調査者等有資格者によるものとすること。 ・事前調査結果は書面で発注者に説明すること。 ・事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。 ・工事に係る部分の床面積の合計が80㎡以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修工事等の事前調査を実施したときは、その結果を工事開始日までに石綿事前調査報告システムにより労働基準監督署および県（大津市内は大津市）に報告すること。

工事写真（※5）

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
着工前	サービス版	5・9・(30)	1	状況によりつなぎ写真
工事中	サービス版		1	必要に応じ撮影する
完成時	サービス版	5・9・(30)	4	完了届提出用
定期提出	サービス版	(3)・6・9	1	月末報告用
竣工写真	※サービス版・キャビネ版	3・5・(7)	2	主として外観
	サービス版	3・10・(20)	2	主として内観

竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をJPEGとし、ＦＤ、ＭＯ、またはＣＤ－ＲＯＭにて提出すること。

種目別特記事項

種目	適用	項目	特記事項
(1) 受水設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、既設量水器より、接続をし、図示ヶ所の既設受水槽＋既設揚水ポンプに至る配管工事一切を行う。
	○	負担金等	要、(不要)
	○	量水器	(貸与)、本工事
		受水タンク	（　　）製、容量（有効　　）m3、耐震（0.6・1.0・1.5）G、機器表による
	○	高置タンク	（ＳＵＳ）製、容量（有効 3.5）m3、耐震（1.0・1.5・(2.0)）G、(機器表による)
		揚水ポンプ	口径（　）mmφ×（　）mH×（　）kW
		給水ポンプ	口径（　）mmφ×（　）mH×（　）kW、機器表による
	○	配管材料	屋外配管：(硬質塩化ビニル管 HIVP)VP、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：ビニルライニング鋼管 VA、(硬質塩化ビニル管 HIVP)
	○	保温工事	施工は標準図による。
(2) 給水設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の給水栓に至る配管工事一切を行う。
	○	給水方式	直圧式、加圧式、(重力式)
	○	配管材料	屋外配管　：(硬質塩化ビニル管 HIVP)、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内埋設配管：(硬質塩化ビニル管 HIVP)、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管　：(硬質塩化ビニル管 HIVP)、ビニルライニング鋼管 VA 住戸内：ポリブテン管、水道用ポリブテン管、架橋ポリエチレン管
	○	保温工事	施工は標準図及び標仕による。
	○	水圧試験	水圧試験を行い漏水のないようにする。
	○	継手、弁等	ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、ライニング弁を使用する。
	○	水質試験	飲適試験(１０項目+残留塩素)を行う（　1箇所)。
(3) 排水通気設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の排水器具に至る配管工事一切を行う。
	○	排水方式	単独式、合流式、(屋内分流屋外合流式)
	○	配管材料	屋外配管 (硬質塩化ビニル管) VP・(VU)、卵形管 EGP 硬質塩化ビニルリサイクル三層管 RF-VP 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管RS-VU（埋設部） 屋内配管 (硬質塩化ビニル管 VP)、排水用鉛管 LP 排水用鋳鉄管 CIP、硬質塩化ビニルリサイクル管 RF-VP 排水用ビニルライニング鋼管 DVLP、(耐火二層管)
	○	保温工事	施工は標準図及び標仕による。
	○	その他	曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。
(4) 衛生器具設備	○	工事範囲及び説明	衛生陶器、付属金具及び給排水金具の取り付けを行う。
	○	衛生器具	器具リストによる。
(5) ガス設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、既設ＬＰＧガス自動切替調整器より、図示ヶ所のガス栓に至る配管工事一切を行う。
	○	負担金等	要、(不要)
	○	ガス計量器	(貸与)、本工事
	○	配管材料	屋外配管　(配管用炭素鋼鋼管（白))(露出部）、ポリエチレン被覆鋼管（埋設部）、(ポリエチレン管（埋設部)) 屋内埋設配管 (ポリエチレン被覆鋼管、)ビニル被覆鋼管 屋内配管　(配管用炭素鋼鋼管（白))、住戸内：フレキ管（SUS)
	○	試験	気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。
	○	ガスの種別	都市ガス(13A)、(プロパンガス)
	○	その他	埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。
(6) 消火設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の消火設備配管及び消火栓箱に至る配管工事一切を行う。
		消火水槽	（　　）製、容量（有効　　）m3、（専用・受水槽兼用)
		消火充水槽	（　　）製、容量（有効　　）m3
		消火ポンプ	口径（　）mmφ×（　）mH×（　）kW
	○	消火栓箱	消火栓箱参考図による。
	○	配管材料	屋外配管　(ビニル被覆鋼管　ＳＧＰ－ＶＳ)、(配管用炭素鋼鋼管（白)) 屋内配管　(配管用炭素鋼鋼管（白))
	○	保温	屋外露出配管は、保温すること。
(7) 給湯設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所の給湯を行う。
	○	給湯ボイラ	鋳鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ 電気温水器、(給湯器)
	○	熱源	Ａ重油、灯油、(ＬＰガス)、都市ガス(13A)、電気
	○	配管材料	脱酸銅管M、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管 (保温付き被覆銅管（保温厚14mm以上))、ポリブテン管、住戸内：架橋ポリエチレン管
	○	保温工事	施工は標準図による。
8 し尿浄化槽設備		工事範囲及び説明	本工事は、図示ヶ所に小型合併浄化槽の設置を行う。
		構造	地上式・地下式・半地下式（　ＦＲＰ　)製
		処理方式	接触曝気式・長時間曝気式・　　　　式
		容量	ＪＩＳ（３０）人槽、（　６．０　）m3／day
		処理水質	BOD(２０ppm)、SS(　ppm)、N(　ppm)、P(　ppm)
		その他	別紙特記仕様書による。
(9) 換気設備	○	工事範囲及び説明	本工事は図示の室を((１種)・２種・(３種))機械換気する。
	○	送風機	(換気扇)、(全熱交換器)、有圧換気扇、(天井扇)、ダクトファン
	○	ダクト	(スパイラルダクト)、亜鉛鉄板
	○	保温	空調換気扇の外気側給排気ダクトは、保温すること。
	○	施工	送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。
	○	機器	機器リストによる。
10 排煙設備		工事範囲及び説明	本工事は図示の室を機械排煙するもので、各機器の取り付けを確実に行う。
		排煙機	
		排煙方式	A方式＝手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機 B方式＝煙感知器 → 中継器 ↓ 手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機
11 暖房設備 / 12 冷房設備 / (13) 空気調和設備	○	工事範囲及び説明	本工事は、図示カ所にＥＨＰエアコンの新設及びＧＨＰエアコンの脱着を行う。
		冷温熱源機	直だき吸収式冷温水発生機(単効用・二重効用)、 水冷チリングユニット、空冷式ヒートポンプチラーユニット （ターボ・スクリュー・遠心・吸収）冷凍機 鋳鉄製ボイラー、鋼製ボイラー
		空気調和機	立型ユニット型空調機、横型ユニット型空調機
		放熱器	ファンコイルユニット、ファンコンベクタ、コンベクタ、ベースボードヒータ
	○	パッケージ型空調機	床置型、(天井吊型)、天井埋込型、壁掛型、(天井埋込カセット型)
	○	配管材料	冷温水管：水道用亜鉛めっき鋼管、耐熱性ビニルライニング鋼管 冷却水管：ビニルライニング鋼管 VA、ポリ粉体ライニング鋼管 PA 冷媒配管：脱酸銅管Ｌ、(断熱材被覆銅管) 排水配管：(硬質塩化ビニル管 VP) 油配管　：SUS304溶接鋼管、圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○	保温保冷	施工は標準図による。
		自動制御	本工事では次の制御を行なう。
		中央監視	中央監視盤を設け、システムの集中運転監視を行なう。
14 特殊配管設備		工事範囲及び説明	
		配管材料	ごみ処理配管：配管用ステンレス鋼鋼管 SUS　——DS——：ごみ処理配管 エアー配管　：配管用炭素鋼鋼管（白）　——A——：エアー配管 冷却水配管　：ビニルライニング鋼管 VB　——CS——：冷却水配管（往） ——CR——：冷却水配管（返） 油圧配管　：圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＴＰＧ－３７０－２０Ａ－ＳＣＨ４０） ——OS——：油圧配管（往） ——OR——：油圧配管（返）
		保温工事	施工は標準図による。
		水圧、気密試験	水圧、気密試験を行い漏水のないようにする。
(15) 撤去工事	○	工事範囲及び説明	1. 本工事は建物改修、解体に伴う機械設備機器及び配管類等の撤去及び処分一切を行う。 2. 既存建物改修に支障のない程度の機器及び配管類の撤去を行う。 3. 撤去空調機は撤去時フロンガス回収を行い、適切な処分を行う。（本工事内） 4. 家電リサイクル品は法的処分をおこなう。

使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

適用	機材名	製造業者					
○	配管類	ＪＩＳ規格等適合品製造者					
○	弁類	ＪＩＳ規格等適合品製造者					
○	タンク	ベルテクノ	森松工業	ホーコス	積水		
○	ポンプ	エバラ	川本ポンプ	テラル			
	量水器						
○	防振継手	ゼンシン	トーゼン	トーフレ	ブリジストン		
○	フレキシブルジョイント(SUS)	ゼンシン	トーゼン	トーフレ	ブリジストン		
○	フレキシブルジョイント(ゴム)	ゼンシン	トーゼン	トーフレ	ブリジストン		
○	排水金物類	伊藤鉄鋼	カネソウ	小島製作所	ダイドレ	長谷川鋳工所	福西鋳物
○	マンホール類	伊藤鉄鋼	カネソウ	小島製作所	ダイドレ	長谷川鋳工所	福西鋳物
	グリストラップ						
○	衛生陶器類	東陶機器	LIXIL(INAX)				
	消火栓箱						
	ボイラ						
	瞬間湯沸器						
○	給湯器	LIXIL(INAX)	東陶機器	パーパス	ノーリツ	パロマ	リンナイ
	厨房機器						
	ガス集合装置	供給者認定品					
○	ガスコック類	供給者認定品					
	浄化槽						
○	送風機	東芝	パナソニック	三菱電機	日立	エバラ	テラル
○	換気扇	東芝	パナソニック	三菱電機	日立		
○	全熱交換器	東芝	パナソニック	三菱電機	日立	ダイキン工業	
	排煙機						
○	防火・防煙・排煙ダンパー	（財）日本建築センター防災性能評定品					
	冷凍機						
	冷温水発生機						
	冷却塔						
○	空調機	ダイキン工業	東芝キャリア	パナソニック	三菱電機	三菱重工	日立冷熱
	放熱器						
	ファンコイルユニット						
	吹出口・吸込口						
	製缶類						
	自動制御機器						

訂正	月 日		月 日		月 日	
	・		・		・	
	・		・		・	
	・		・		・	

建築事務所 BCY'S　株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所　一級建築士登録第 204199 号　山本 勝義

FILE No.	工事名		SCALE	M
	浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）	機械設備工事	1：	No. 1／48
	DATE　.　.　:	特記仕様書	1：	
			1：	
			1：	

工　事　区　分　表

下記の項目は ○ 印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。

No	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
1	躯体貫通スリーブ入・箱入							
2	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め							
3	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋							補強数量表による
4	地下消火水槽、蓄熱槽などの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管							
⑤	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○						
⑥	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための墨出し		○	○				
⑦	吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための孔開・補強	○						補強数量表による
⑧	建物外壁に取付く給・排気ガラリの製作取付	○	○					レジスターは建築工事
⑨	建具ガラリの製作取付	○						建具表による
⑩	機械・機器類の基礎		○	○				図示による
⑪	機器用アンカーボルト		○	○				
⑫	受水槽・高架水槽・キュービクル		○	○				
13	受水槽・高架水槽用基礎	○						
14	オイルタンク							
15	同上基礎及び躯体							図示による
16	サービスタンク用防油堤							
17	グリストラップ							
⑱	既製品流し・ガス台	○	○					
19	便所廻りの手すり							
⑳	換気扇		○					
㉑	同上取付枠		○					
㉒	天井扇・ダクト・ガラリ・ベントキャップ		○					
㉓	フードの製作・取付		○					
㉔	空調自動制御盤及び機器の取付・配管配線・調整		○					
㉕	同上の一次側配管配線工事			○				
㉖	防煙シャッターの一次側配管配線			○				
㉗	防煙シャッターの二次側配管配線・調整			○				
㉘	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
㉙	防火扉の一次側配管配線			○				
㉚	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置			○				
㉛	同上煙感知器・連動装置・制御盤			○				
㉜	煙感知器連動のダンパーのレリーズ(防煙シャッター用)			○				
㉝	同上用の感知器及び配管配線			○				
㉞	同上用非常電源装置			○				
35	自動ドアの取付及び調整・検査スイッチ、駆動装置二次側配線							
36	同上一次側配管配線							
㊲	液面電極棒の取付及び調整			○				
㊳	受水槽（ポンプ室）一次側配管配線			○				
㊴	同上二次側配管配線・調整			○				
㊵	便所用及び給湯設備の一次側配管配線			○				
㊶	同上二次側配管配線・調整		○					
42	合併処理槽の躯体・モルタル仕上・マンホール・チェッカープレート							
43	同上内部装置・機械配管及び二次側配管配線							
44	同上一次側配管配線							
45	手洗いカウンター							

No	工　事　項　目	建築	機械	電気			別途	備　考
46	洗面カウンター用洗面器							
㊼	消火ポンプユニット一次側配管配線			○				
㊽	消火ポンプユニット・二次側配管配線・調整			○				
㊾	照明器具・配管・ライティングダクト等吊ボルト用インサート			○				
㊿	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート		○					
51	厨房器具							
52	同上接続配管・電源接続工事							
(53)	実験台、調理台	○						
(54)	同上接続配管・電源接続工事		○	○				
55	設置機器取付用ＡＬＣ版等の孔明け及び補強							
(56)	消火器	○						変電設備・ＥＶ機械室については、各工事に含む
(57)	ルーフドレイン	○						
(58)	汚水・雑排水の会所桝・排水管		○					
(59)	ユニットバス本体及び据え付け(ユニットシャワー含む)	○						
(60)	洗濯機パン		○					
61	上水道引込工事							加入金別途
62	下水道引込工事（公桝設置）							既存引込管流用
63	都市ガス引込工事							敷地内は本工事とし、市道部は別途工事
(64)	洗面化粧台		○					
(65)	ユニットシャワー用シャワーバス水栓		○					US付属品
(66)	ユニットシャワー用排水管接続		○					
(67)	外構フェンス及び基礎	○						
(68)	雨水排水の会所桝・排水管	○						
(69)	ヒートポンプエアコン機器		○					
(70)	同上冷媒配管及びドレン管		○					
(71)	同上一次側配管配線			○				
(72)	同上二次側配管配線		○					
(73)	同上室外機基礎・架台（Ｈ）	○						図示による
74	昇降機の一次側配管配線							
75	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線							
76	昇降機のインターホン用配線							
77	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）							
78	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）							
79	監視室等のインターホン取付調整							
80	昇降機用油配管工事							
81	同上用床ピット							
82	昇降機機械室防油堤							
83	昇降機ピット内点検用コンセント							
84	昇降路・ピットモルタル防水仕上げ							
85	昇降機機械室内ホイスティングフック							
86	昇降機各出入口・インジケーター押ボタン等の孔明工事							
87	昇降機機械室床シンダーコンクリート打設及び防塵塗装							
88	昇降機機械室内換気扇・サーモスタットの取付							
(89)	竣工時までの工事用及び調整用電気・水道・ガス等基本料、使用料	○	○	○				
(90)	電動シャッター　１次側			○				
(91)	電動シャッター　２次側			○				
(92)	防火上主要な間仕切り壁の既設開口部の穴埋め措置	○						
(93)	防火上主要な間仕切り壁の既設開口部の配管撤去後の防火区画措置		○	○				

設　備　用　の　開　口　補　強　数　量　表

１．設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

１）梁貫通補強筋（貫通孔Ｄ／３以下、梁巾＝４００以下の場合、Ｄは梁せい）

貫通内径（φ）		数　量	備　考
100＜H≦200	φ125		
	φ150		
	φ200		
200＜H≦300			
300＜H≦400			

※貫通内径１００φ未満の時は補強を必要としない　　Ｈ：貫通内径mm

２）スラブ開口補強筋

開口面積（ｍ２）	数　量	備　考
Ａ≦０．３		
０．３＜Ａ≦１．０		

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。　　Ａ：開口面積ｍ２

３）壁開口補強

開口面積（ｍ２）	数　量	備　考

※壁筋を切断しない場合は補強を必要としない。

２．設備用下地材開口補強

１）壁開口補強　軽量鉄骨下地、木軸等

開口寸法（mm）	数　量	備　考
1040 X 1370H	3	機械（屋内消火栓）HB-2

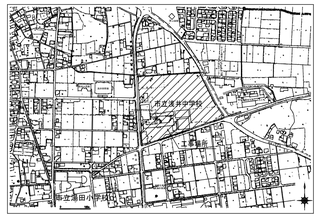
２）天井開口補強

開口寸法（mm）	数　量	備　考	開口寸法（mm）	数　量	備　考
1140 X 618	2	機械（ACR-1,2）	φ150	6	電気 照明(K-15W)
840 X 618	1	機械（ACR-3）	φ200	55	電気(埋込スピーカー)
315 X 315	5	機械（F24-1,F-1）	φ170	2	電気(サブスピーカー)
315 X 315	4	機械（F-2,FK-1）			
260 X 260	2	機械（F24-2）			
180 X 180	1	機械（FW-2）			
395 X 395	1	機械（HE24-2）			
φ100	1	機械（OAG-1）			
φ150	3	機械（OAG-2）			

特記事項
１．設備用の開口補強数量は設計上の必要数量であり、施工上必要個所と相違ある場合には監督職員の指示により、数量が増減するも工事金額内で処理する。

■参考工程表

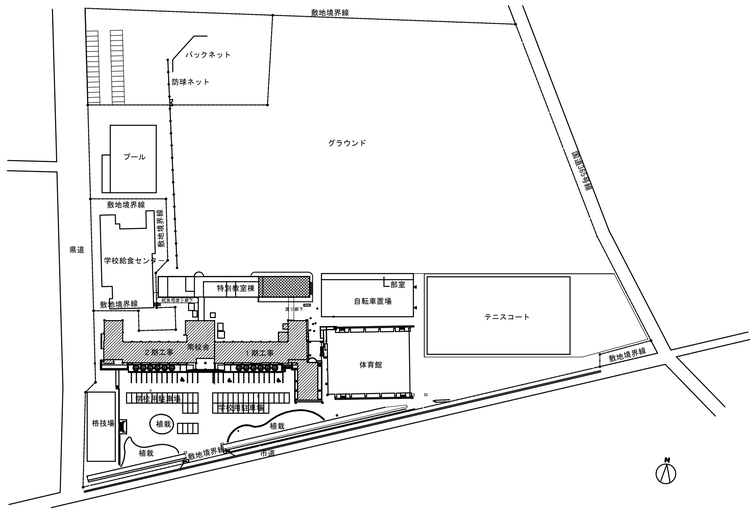
工事区分	工事内容 ＼ 年度 / 月	2022年(令和4年)度 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年(令和5年)度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2024年(令和6年)度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本工事	●南校舎長寿命化改修工事 建築工事・電気設備工事・機械設備工事						仮設職員室改修工事						備品移動	1期工事					備品移動			多目的ルーム復旧工事			備品移動	2期工事 汚水配管工事					備品移動	給食用渡り廊下屋根撤去		
別途工事	●仮設校舎リース 建築工事・電気設備工事・機械設備工事 （リース期間17カ月）	準備工		申請			仮設校舎１期工事							リース期間							仮設校舎２期工事					リース期間					解体撤去・グラウンド整備 （校舎） 解体撤去 （渡り廊下）		舗装工事	
ローテーション		0（現況図）					図１			（１）			図２			（２）					図3（3）	図４					（４）				図５		（５）



付近見取図　1/10000

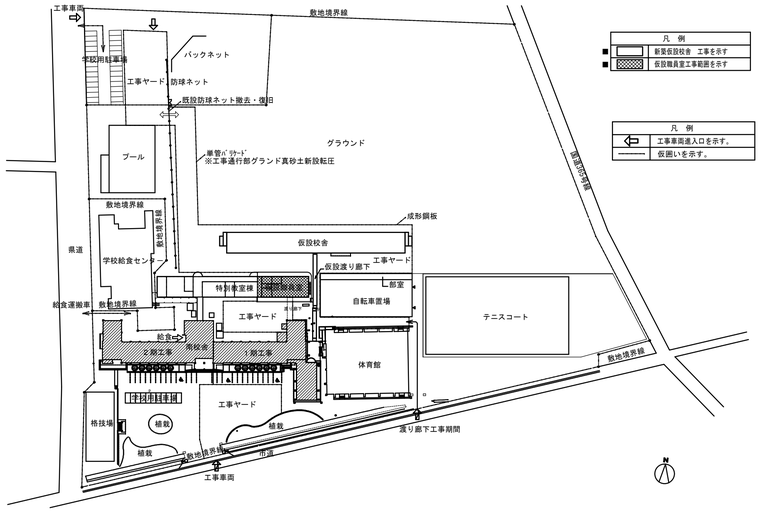
ローテーション図０（現況図）

（仮設関連工事）
Ｒ４．８ ～１２



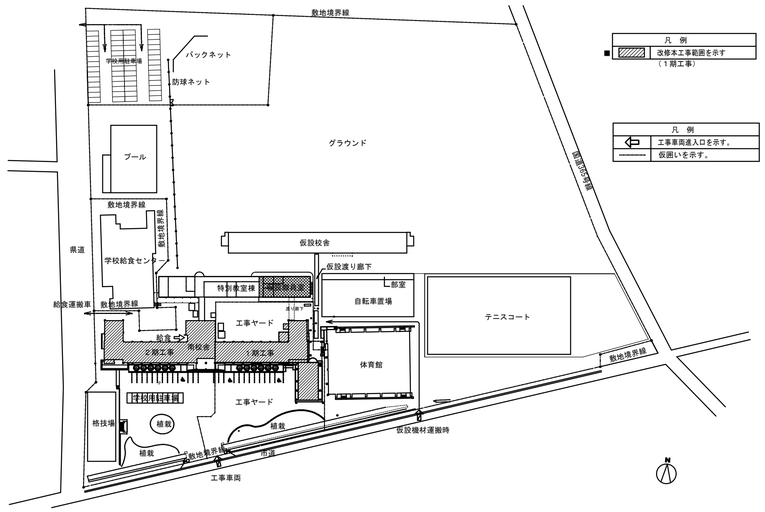
ローテーション図１

（仮設関連工事）
ＳＴＥＰ１　Ｒ５．１～７



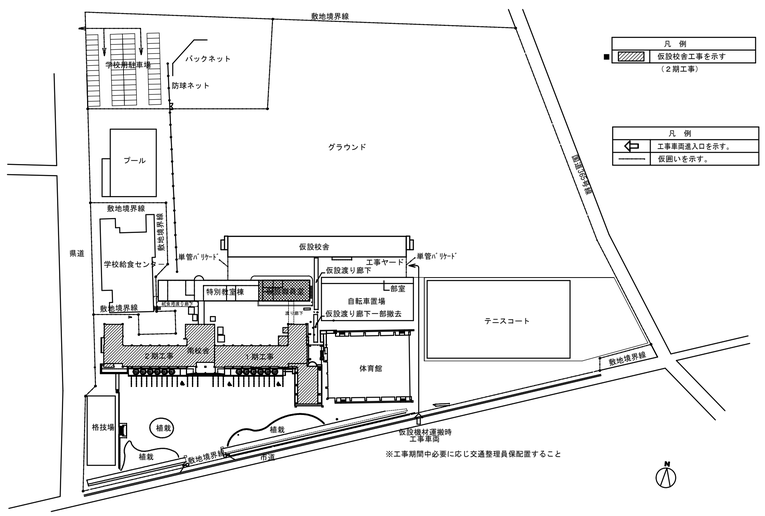
ローテーション図２

（１期工事）
ＳＴＥＰ２　Ｒ５．８～６．３



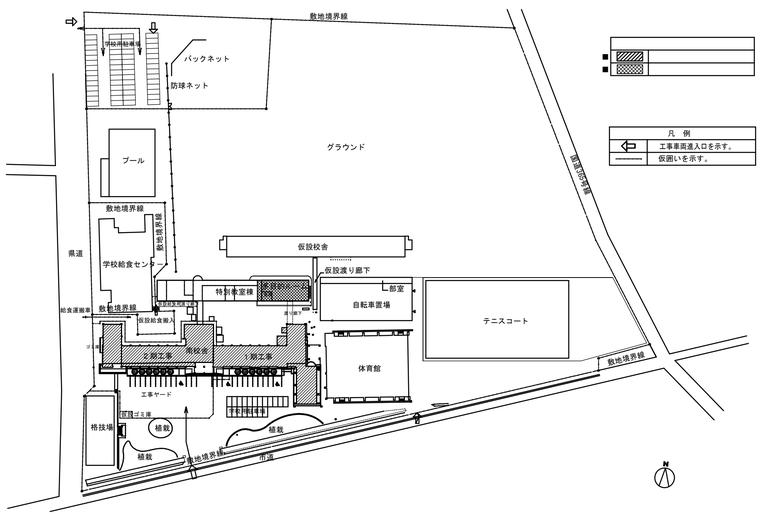
ローテーション図３

（仮設校舎２期工事）
ＳＴＥＰ３　Ｒ６．３～６．４



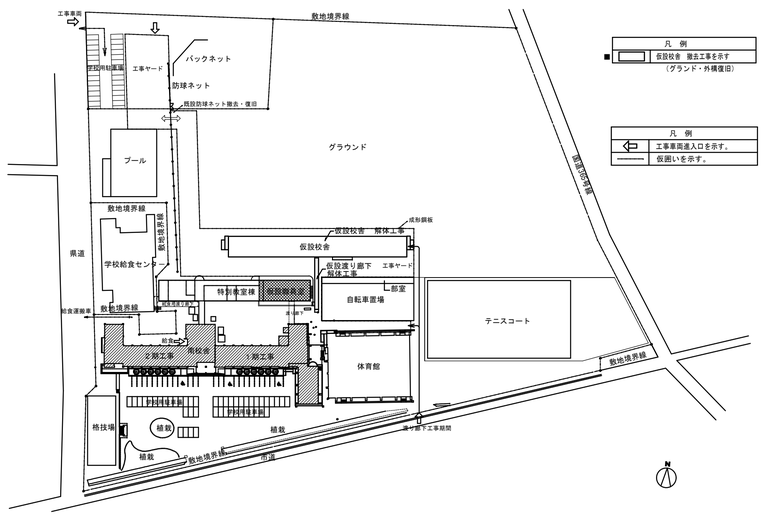
ローテーション図４

（２期工事）
ＳＴＥＰ４　Ｒ６．４～１２



ローテーション図５

（仮設解体復旧工事）
ＳＴＥＰ５　Ｒ７．１～３
（渡り廊下の解体撤去は Ｒ７．１）



訂	月　日	月　日	月　日
正	$F		

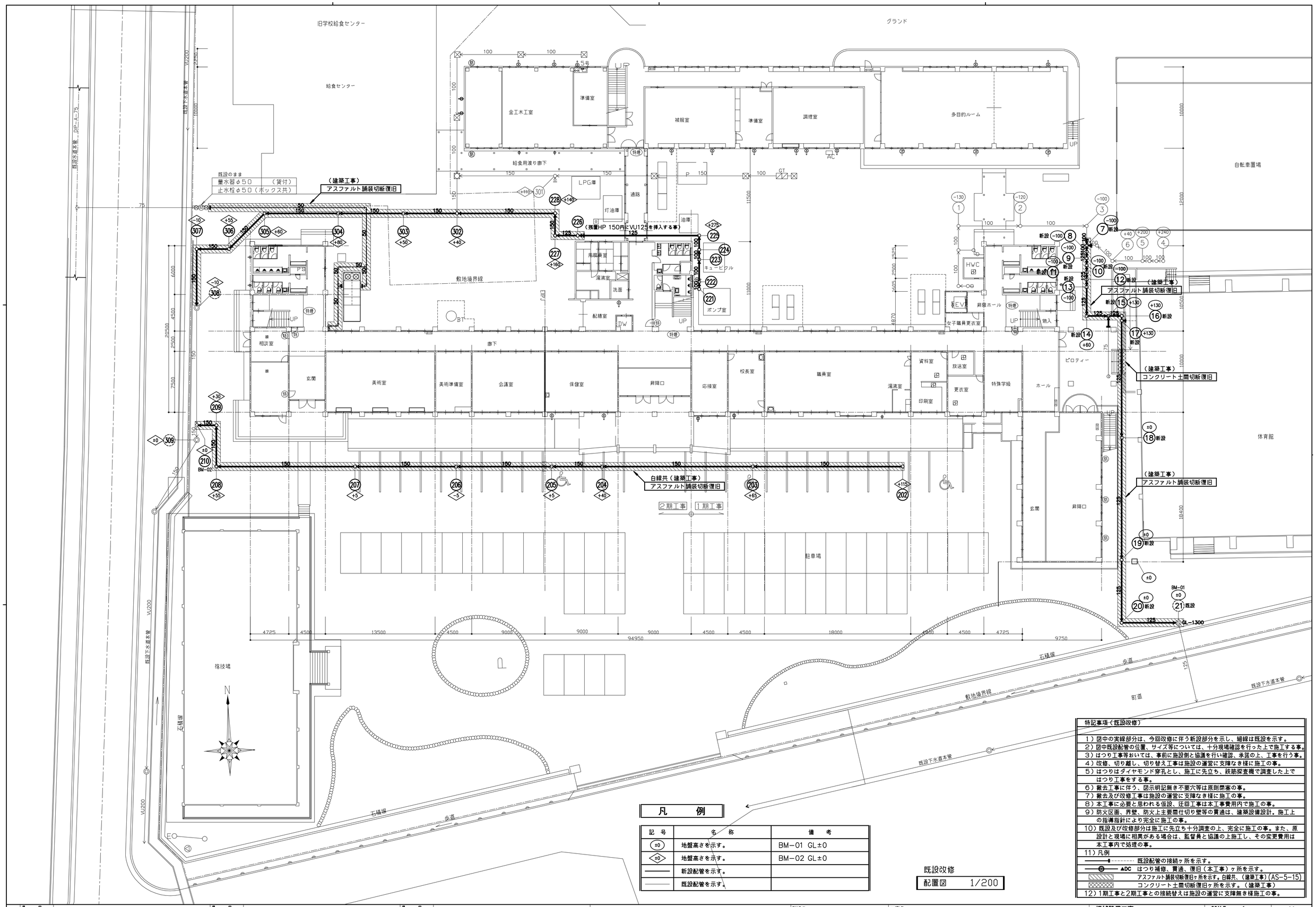
建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE

機械設備工事	SCALE　1：	M
工事ローテーション図、参考工程表	1：	No. 3／48
付近見取図	1：10000 (A1)	
	1：20000 (A3)	



凡　例

記号	名称	備考
⊘	地盤高さを示す。	BM−01 GL±0
◇	地盤高さを示す。	BM−02 GL±0
———	新設配管を示す。	
———	既設配管を示す。	

既設改修
配置図　1/200

特記事項（既設改修）

1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
アスファルト舗装切断復旧ヶ所を示す。白線共、（建築工事）(AS−5−15)
コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）
12）1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障無き様施工の事。

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
既設改修　配置図		1 :	No. 4/48
		1 : 200 (A1)	
		1 : 400 (A3)	

新設　機器リスト　浅井中学校

図面記号	名　称	仕　様	電気容量	数量	備　考
WTH−1	高　架　水　槽	型式　ステンレス製保温構造パネル型　国土交通省仕様		1	あと施工接着系アンカー：本工事
		1槽式高架水槽容量（有効） 3.5 m3　2.0 G　高架水槽寸法　1500L x 1500W x 2000H			新設
		マンホール（梯子内外共）、電極座、通気口、ケミカルアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台、架台1000H（亜鉛メッキ）　本工事			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
FT−1	消 火 用 充 水 槽	型式　ステンレス製開放型（屋内消火栓用）		1	あと施工接着系アンカー：本工事
		充水槽容量（有効）　0.3 m3　2.0 G　充水槽寸法　800L x 800W x 800H			新設
		マンホール、電極座、通気口、ケミカルアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台（亜鉛メッキ）　本工事			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
FP−1	消　火　ポ　ン　プ	型式　屋内消火栓１号用ポンプユニット吸込型（認定品）　国土交通省仕様	3φ 200V 7.5 KW	1	50x40FMSFU467.5E エバラ（四等品）
		口径　φ50 mm　水量　300 ℓ／min　揚程　79 mAq	直入方式		新設
		制御盤（消火水槽、呼び水槽、消火用充水槽満減水警報用無電圧端子付）共、呼び水槽、水温上昇防止逃がし配管、性能試験装置、凍結防止ヒーター共			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
HB−1	屋内消火栓格納箱	型式　屋内露出縦型（ホースリール式）易操作性タイプ　国土交通省仕様		9	HB−1B　詳細図参照
		寸法　750W x 1400H x 200D　バルブ　32A x 90 − 1個　減圧弁　32A − 1個			新設
		噴霧切替ノズル　32A x φ8（開閉装置付）− 1個　ホース　32A x 30m − 1本			
		キャビネット　鋼板製1.6t　メラミン樹脂焼付 − 1 式　圧力損失　ホース（30m）+ノズル　=24mAq			
HB−2	屋内消火栓格納箱	型式　屋内埋込型（ホースリール式）易操作性タイプ+消火器ボックス+ガード付　国土交通省仕様		3	HB−1AS　詳細図参照
		寸法　1030W x 1400H x 200D　バルブ　32A x 90 − 1個			新設
		噴霧切替ノズル　32A x φ8（開閉装置付）− 1個　ホース　32A x 30m − 1本			
		キャビネット　鋼板製1.6t　メラミン樹脂焼付 − 1 式　圧力損失　ホース（30m）+ノズル　=24mAq			
WT−1	受　水　槽	型式　ステンレス製保温構造パネル型　２槽式受水槽+ポンプ室付タイプ		1	既設のまま
		２槽式受水槽容量（有効） 13.5 m3　1.5 G　受水槽寸法　4000L x 2000W x 2000H			
		ステンレス製単板構造パネル型ポンプ室　1.5 G　ポンプ室寸法　2000L x 2000W x 2000H			
		マンホール（梯子内外共）、電極座、通気口、SUSアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台（亜鉛メッキ）　本工事　コンクリート基礎　600H			
WP−1	揚　水　ポ　ン　プ	型式　赤水対策用（ナイロンコーティング）片吸込渦巻型	3φ 200V 3.7 KW	2	IN506X3ME3.7　川本製作所
		口径　φ50 mm　水量　360 ℓ／min　揚程　33 mAq			ECB2−A3.7　川本製作所
		自動交互運転。制御盤（満減水警報用無電圧端子付,２槽式電極切替付）			既設のまま
		コンクリート基礎　300H			
		注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。			

撤去　機器リスト　浅井中学校

図面記号	名　称	仕　様	電気容量	数量	備　考
WTH−1	高　架　水　槽	型式　ステンレス製保温構造パネル型		1	撤去
		1槽式高架水槽容量（有効） 3.5 m3　2.0 G　高架水槽寸法　1500L x 1500W x 2000H			
		マンホール（梯子内外共）、電極座、通気口、ケミカルアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台、架台1000H（亜鉛メッキ）　本工事			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
FT−1	消 火 用 充 水 槽	型式　ステンレス製開放型（屋内消火栓用）		1	撤去
		充水槽容量（有効）　0.3 m3　2.0 G　充水槽寸法　800L x 800W x 800H			
		マンホール、電極座、通気口、ケミカルアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台（亜鉛メッキ）　本工事			
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			
FP−1	消　火　ポ　ン　プ	型式　屋内消火栓１号用ポンプユニット吸込型	3φ 200V 7.5 KW	1	KIY2−50GX55−7.5　川本製作所
		口径　φ50 mm　水量　300 ℓ／min　揚程　−　mAq	直入方式		PUA2−03−01　川本製作所
		制御盤（消火水槽、呼び水槽、消火用充水槽満減水警報用無電圧端子付）共、呼び水槽、水温上昇防止逃がし配管、性能試験装置、凍結防止ヒーター共			ECKB−7.5−09
		コンクリート基礎　既設のまま：流用			撤去
HB−1	屋内消火栓格納箱	型式　屋内露出縦型		9	撤去
		寸法　750W x 1300H x 180D　バルブ　40A x 90 − 1個			
		ノズル　40A x φ9 − 1個　ホース　40A x 15m − 2本　ホース掛　40A用			
HB−2	屋内消火栓格納箱	型式　屋内埋込型+消火器ボックス+ガード付		3	撤去
		寸法　1050W x 1300H x 200D　バルブ　40A x 90 − 1個			
		ノズル　40A x φ9 − 1個　ホース　40A x 15m − 2本　ホース掛　40A用			
WT−1	受　水　槽	型式　ステンレス製保温構造パネル型　２槽式受水槽+ポンプ室付タイプ		1	既設のまま
		２槽式受水槽容量（有効） 13.5 m3　1.5 G　受水槽寸法　4000L x 2000W x 2000H			
		ステンレス製単板構造パネル型ポンプ室　1.5 G　ポンプ室寸法　2000L x 2000W x 2000H			
		マンホール（梯子内外共）、電極座、通気口、SUSアンカーボルト、その他附属品一式			
		平架台（亜鉛メッキ）　本工事　コンクリート基礎　600H			
WP−1	揚　水　ポ　ン　プ	型式　赤水対策用（ナイロンコーティング）片吸込渦巻型	3φ 200V 3.7 KW	2	IN506X3ME3.7　川本製作所
		口径　φ50 mm　水量　360 ℓ／min　揚程　33 mAq			ECB2−A3.7　川本製作所
		自動交互運転。制御盤（満減水警報用無電圧端子付,２槽式電極切替付）			既設のまま
		コンクリート基礎　300H			
WP−2	揚　水　ポ　ン　プ	型式　片吸込渦巻型	3φ 200V 3.7 KW	2	撤去
		口径　φ50 mm　水量　360 ℓ／min　揚程　33 mAq			
		自動交互運転			
		コンクリート基礎　300H　既設のまま			
		注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。			

新設　衛生器具リスト　浅井中学校

品名	品番	本館棟（1期工事） 1階 校長室	職員室	男子職員更衣室	女子職員更衣室		屋外	2階 少人数教室	手洗い		3階 特別支援教室	手洗い	小計	本館棟（2期工事） 1階 美術室	美術準備室	保健室	脱衣室2	US	屋外		2階 西側手洗い	中央手洗い		3階 西側手洗い	中央手洗い		小計	合計	備考
汚物流し	SKL330HNNN																1										1	1	
洗面化粧台	LDA756AER	1	1	1	1								4			1											1	5	
化粧鏡	LMA752EC	1	1	1	1								4			1											1	5	
自在水栓	T136SUNR13							4			4		8	9	1						6	3		6	3		28	36	
化粧鏡	YM4560FE							4			4		8	9	1						6	3		6	3		28	36	
ユニットシャワー	JSV0812UT																	1									1	1	
流し台	GKF-S-150MYN															1											1	1	
吊戸棚	GKF-A-120F															1											1	1	
水切棚	NSR-120-1															1											1	1	
ミニキッチン	DMK15LKWC1E200(R・L)		1										1															1	
湯沸器	16号先止め式（給湯専用）																		1								1	1	
ヒューズコック	156-366															1											1	1	
散水栓	T28UNH13						2						2						2								2	4	
散水栓用ボックス	B-3						2						2						2								2	4	

注記：数量及び台数については、平面図より拾い出す事。

新設衛生器具附属品リスト　浅井中学校

品名	品番	附属品
		フラッシュバルブ　レバー式自在水栓（壁タイプ）　排水ソケット
汚物流し	SKL330HNNN	TV560QAP　TK133EQ13C　HP330P
洗面化粧台	LDA756AER	間口750mm、シングルレバー混合栓、床排水トラップ、止水栓、その他附属品共
化粧鏡	LMA752EC	三面鏡、収納トレイ、エコミラー付き、その他附属品共
自在水栓	T136SUNR13	立型、泡沫キャップ付きタイプ、スパウト190mm
化粧鏡	YM4560FE	盗難防止タイプ、耐食製、450×600
ユニットシャワー	JSV0812UT	寸法：800×1200×2030H、折れ戸800W、サーモ水栓シャワー、スライドバー、LEDダウンライト、換気グリル、付属品1式
流し台	GKF-S-150MYN	LIXIL：1500W×550D×800H、一槽シンク、水切り、固定金物、その他付属品1式
吊戸棚	GKF-A-120F	LIXIL：1200W×367D×500H、不燃処理、その他付属品1式
水切棚	NSR-120-1	LIXIL：1200W×235D×300H、1段、その他付属品1式
ミニキッチン	DMK15LKWC1E200(R・L)	LIXIL：1500W、冷蔵庫なし、シングルレバー、IHヒーター（1φ200V2.0KW）、飲料用電気温水器12L（1φ200V1.5KW）、幕板、その他附属品共
湯沸器	16号先止め式（給湯専用）	屋外壁掛型、リモコン、リモコン配線、フレキ、GV、SC、安全弁、その他付属品1式　ガス消費量34．9KW（2.5Kg／H）
ヒューズコック	156-366	2口、φ9．5（コンセント＋ホースエンド、壁付タイプ）、過流出安全機構付き

既設、撤去　桝リスト

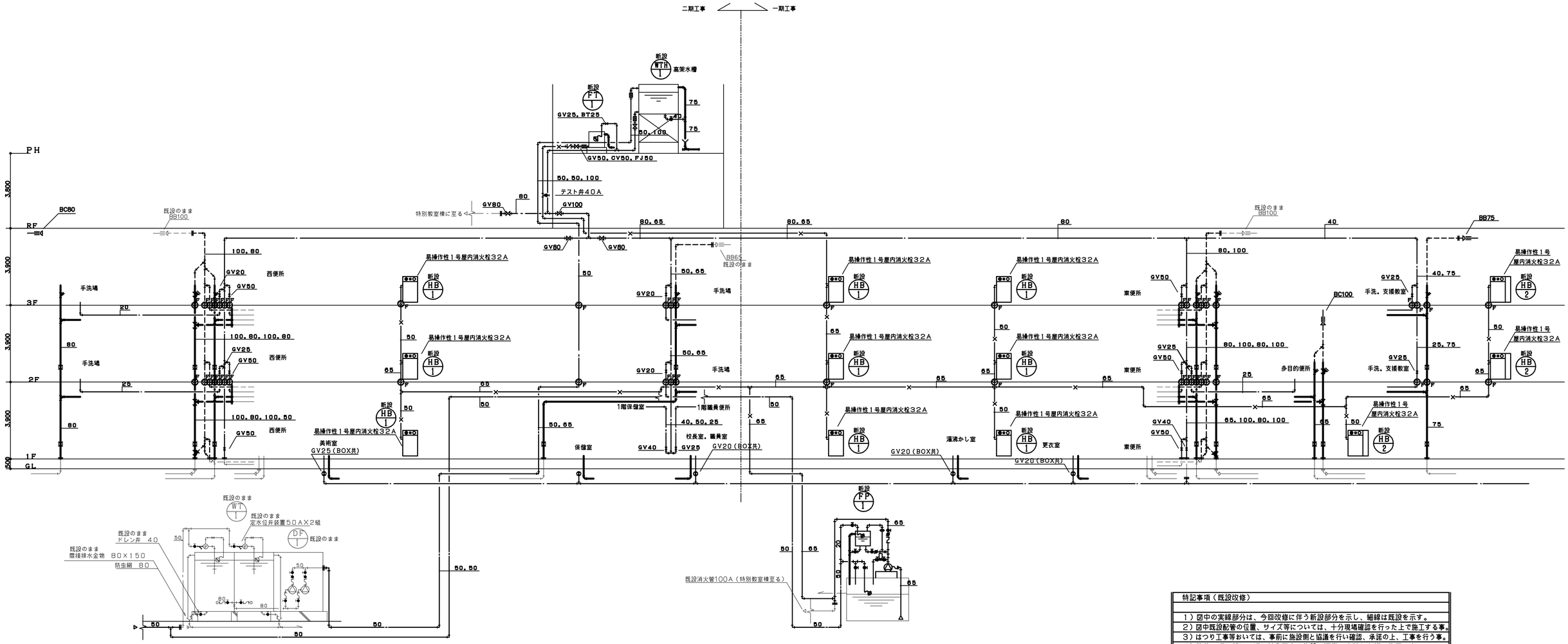
図面記号	寸　法	現状地盤よりの管低	設計(BM-02)GL±0よりの管低	蓋	備　考
汚水桝、雑排水桝、防臭桝、トラップ桝					
1	φ150	GL−200	GL+75	φ150	小口径塩ビ桝　レジコン蓋　既設のまま
2	φ150	GL−330	GL−45	φ150	〃　〃　〃
3	φ150	GL−420	GL−115	φ150	〃　〃　〃
4	φ150	GL−390	GL+255	φ150	〃　〃　〃
5	φ150	GL−380	GL+225	φ150	〃　〃　〃
6	φ150	GL−350	GL+95	φ150	〃　〃　〃
7	φ150	GL−450	GL−145	φ150	〃　〃　撤去
8	φ150	GL−700	GL−395	φ150	〃　〃　〃
9	φ200	GL−740	GL−435	φ200	〃　〃　〃
10	φ150	GL−930	GL−465	φ150	〃　〃　〃
11	φ150	GL−930	GL−395	φ150	〃　〃　〃
12	φ150	GL−970	GL−505	φ150	〃　〃　〃
A	φ150	GL−470	GL−165	φ150	小口径塩ビ桝　レジコン蓋　〃
B	φ150	GL−490	GL−185	φ150	〃　〃　〃
C	φ150	GL−510	GL−205	φ150	〃　〃　〃
D	φ150	GL−530	GL−225	φ150	〃　〃　〃
E	φ150	GL−300	GL+165	φ150	〃　〃　〃
F	φ150	GL−350	GL+185	φ150	〃　〃　〃
201	φ200	GL−985	GL−580	φ200	〃　レジコン蓋、化粧蓋　既設のまま
202	φ200	GL−895	GL−780	φ200	〃　防護ハットT−14.0　撤去
203	φ200	GL−1095	GL−1030	φ200	〃　〃　〃
204	φ200	GL−1320	GL−1280	φ200	〃　〃　〃
205	φ200	GL−1350	GL−1345	φ200	〃　〃　〃
206	φ200	GL−1450	GL−1455	φ200	〃　〃　〃
207	φ200	GL−1645	GL−1640	φ200	〃　〃　〃
208	φ200	GL−1830	GL−1775	φ200	〃　〃　〃
209	φ200	GL−1820	GL−1790	φ200	〃　〃　〃
210	φ200	GL−1820	GL−1820	φ200	〃　〃　〃
221	φ200	GL−825	GL−550	φ200	〃　レジコン蓋　〃
222	φ200	GL−845	GL−570	φ200	〃　〃　〃
223	φ200	GL−885	GL−610	φ200	〃　〃　〃
224	φ200	GL−915	GL−640	φ200	〃　〃　〃
225	600x600	GL−945	GL−670	MHA−60	コンクリート桝　鋳鉄製マンホールＳＣ−３　撤去
226	600x600	GL−1020	GL−860	MHA−60	コンクリート桝　鋳鉄製マンホールＳＣ−３　撤去
227	φ200	GL−1050	GL−890	φ200	小口径塩ビ桝　鋳鉄蓋　撤去
228	450x450	GL−550	GL−390	MHA−45	コンクリート桝　鋳鉄製マンホールＲＣ−２　撤去
301	φ200	GL−1140	GL−1030	φ200	小口径塩ビ桝　鋳鉄蓋　既設のまま
302	φ200	GL−1300	GL−1260	φ200	〃　〃　撤去
303	φ200	GL−1360	GL−1310	φ200	〃　〃　〃
304	φ200	GL−1470	GL−1390	φ200	〃　〃　〃
305	φ200	GL−1630	GL−1570	φ200	〃　レジコン蓋　〃
306	φ200	GL−1680	GL−1595	φ200	〃　〃　〃
307	φ200	GL−1650	GL−1660	φ200	〃　鋳鉄蓋　〃
308	φ300	−	−	φ300	宅内公桝　鋳鉄蓋　既設のまま
309	φ300	−	−	φ300	宅内公桝　鋳鉄蓋　〃
					UT桝については、通気口付きとする。
					管底は参考とし現場調査の上、完全に施工する事。
					下水道施設課と協議し、適切に処理する事。

既設、新設　桝リスト

図面記号	寸　法	現状地盤よりの管低	設計(BM-01)GL±0よりの管低	蓋	備　考
汚水桝、雑排水桝、防臭桝、トラップ桝					
1	φ150	GL−200	GL−330	φ150	小口径塩ビ桝　レジコン蓋　既設のまま
2	φ150	GL−330	GL−450	φ150	〃　〃　〃
3	φ150	GL−420	GL−520	φ150	〃　〃　〃
4	φ150	GL−390	GL−150	φ150	〃　〃　〃
5	φ150	GL−380	GL−180	φ150	〃　〃　〃
6	φ150	GL−350	GL−310	φ150	〃　〃　〃
7	φ150	GL−450	GL−550	φ150	〃　〃　新設100−150−90Y
8	φ150	GL−470	GL−570	φ150	〃　〃　〃 125−150−UT
9	φ150	GL−490	GL−590	φ150	〃　〃　〃 125−150−90Y
10	φ150	GL−510	GL−610	φ150	〃　〃　〃 125−150−90Y
11	φ150	GL−530	GL−630	φ150	〃　〃　〃 125−150−UT
12	φ150	GL−550	GL−650	φ150	〃　〃　〃 125−150−UT
13	φ150	GL−570	GL−670	φ150	〃　〃　〃 125−150−90Y
14	φ150	GL−800	GL−740	φ150	〃　〃　〃 125−150−90L
15	φ200	GL−930	GL−800	φ200	〃　〃　〃 125−200−90Y
16	φ200	GL−970	GL−840	φ200	〃　〃　〃 125−150−90L
17	φ200	GL−990	GL−860	φ200	〃　〃　〃 125−200−90Y
18	φ200	GL−1005	GL−1005	φ200	〃　〃　〃 125−200−ST
19	φ200	GL−1155	GL−1155	φ200	〃　防護ハットT−14.0　新設125−200−ST
20	φ200	GL−1235	GL−1235	φ200	〃　〃　〃 125−200−90L
21	φ200	GL−1300	GL−1300	φ200	既設宅内公桝へ接続　フリーインバート桝　インバート改修
					UT桝については、通気口付きとする。
					管底は参考とし現場調査の上、完全に施工する事。
					下水道施設課と協議し、適切に処理する事。

既設、新設　桝リスト

図面記号	寸　法	現状地盤よりの管低	設計(BM-02)GL±0よりの管低	蓋	備　考
汚水桝、雑排水桝、防臭桝、トラップ桝					
202	φ200	GL−895	GL−780	φ200	小口径塩ビ桝　防護ハットT−14.0　新設150−200−90Y
203	φ200	GL−1035	GL−970	φ200	〃　〃　〃 150−200−90Y
204	φ300	GL−1220	GL−1180	φ300	〃　〃　〃 150−300−ST
205	φ300	GL−1260	GL−1255	φ300	〃　〃　〃 150−300−90Y
206	φ300	GL−1385	GL−1390	φ300	〃　〃　〃 150−300−ST
207	φ300	GL−1535	GL−1530	φ300	〃　〃　〃 150−300−90Y
208	φ300	GL−1775	GL−1720	φ300	〃　〃　〃 150−300−90L
209	φ300	GL−1810	GL−1780	φ300	〃　〃　〃 150−300−90L
210	φ300	GL−1820	GL−1820	φ300	〃　〃　〃 150−300−90L
221	φ200	GL−825	GL−550	φ200	〃　レジコン蓋　〃 100−200−90Y
222	φ200	GL−845	GL−570	φ200	〃　〃　〃 100−200−UT
223	φ200	GL−885	GL−610	φ200	〃　〃　〃 100−200−UT
224	φ200	GL−915	GL−640	φ200	〃　〃　〃 100−200−90Y
225	φ200	GL−940	GL−665	φ200	〃　〃　〃 125−200−90L
226	φ200	GL−1015	GL−855	φ200	〃　防護ハットT−14.0　〃 125−200−ST
227	φ200	GL−1050	GL−890	φ200	〃　〃　〃 150−200−90L
228	φ200	GL−1160	GL−1020	φ200	〃　〃　〃 150−200−90L
301	φ200	GL−1140	GL−1030	φ200	〃　鋳鉄蓋　既設のまま
302	φ300	GL−1300	GL−1260	φ300	〃　防護ハットT−14.0　新設150−300−90Y
303	φ300	GL−1400	GL−1350	φ300	〃　〃　〃 150−300−ST
304	φ300	GL−1520	GL−1440	φ300	〃　〃　〃 150−300−ST
305	φ300	GL−1600	GL−1540	φ300	〃　〃　〃 150−300−45L
306	φ300	GL−1665	GL−1610	φ300	〃　〃　〃 150−300−90Y
307	φ300	GL−1650	GL−1660	φ300	〃　〃　〃 150−300−90L
308	φ300	−	−	φ300	宅内公桝　鋳鉄蓋　既設のまま
309	φ300	−	−	φ300	宅内公桝　鋳鉄蓋　〃
					UT桝については、通気口付きとする。
					管底は参考とし現場調査の上、完全に施工する事。
					下水道施設課と協議し、適切に処理する事。



既設改修
衛生設備　系統図

特記事項（既設改修）
1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、汪回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
F 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
満水継手

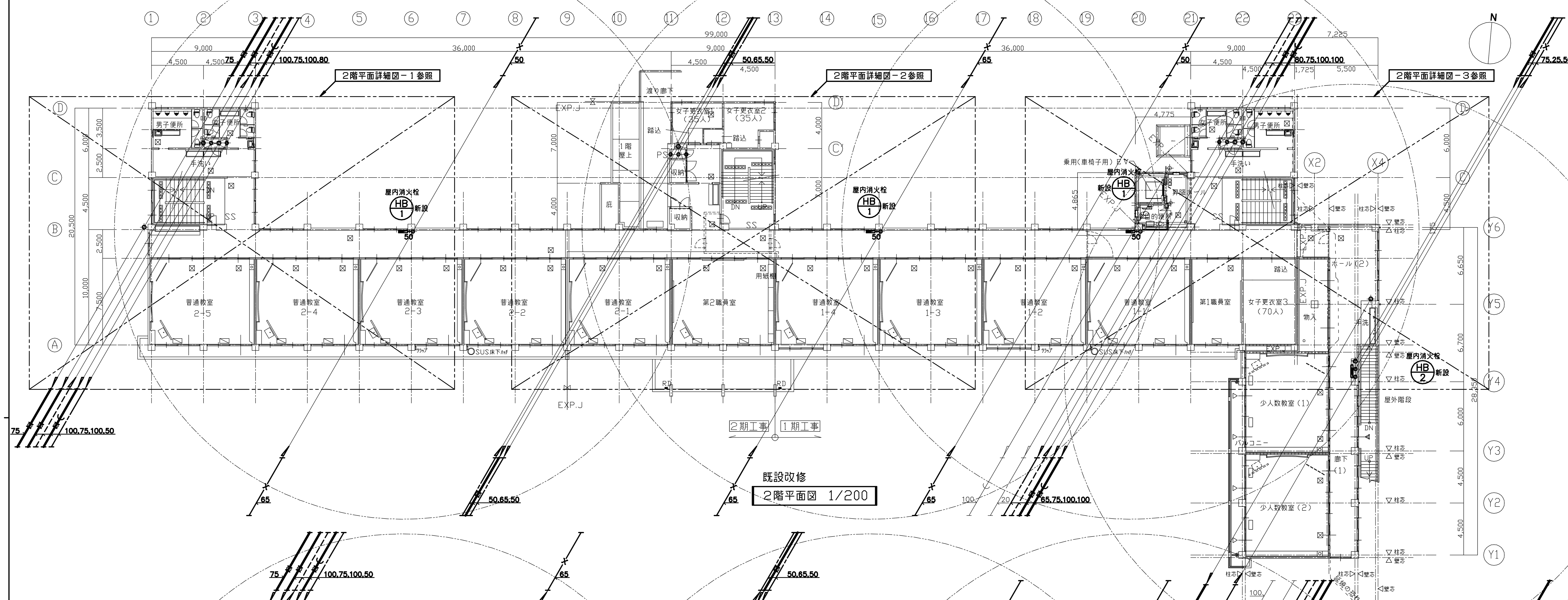
訂正	月 日	月 日	月 日

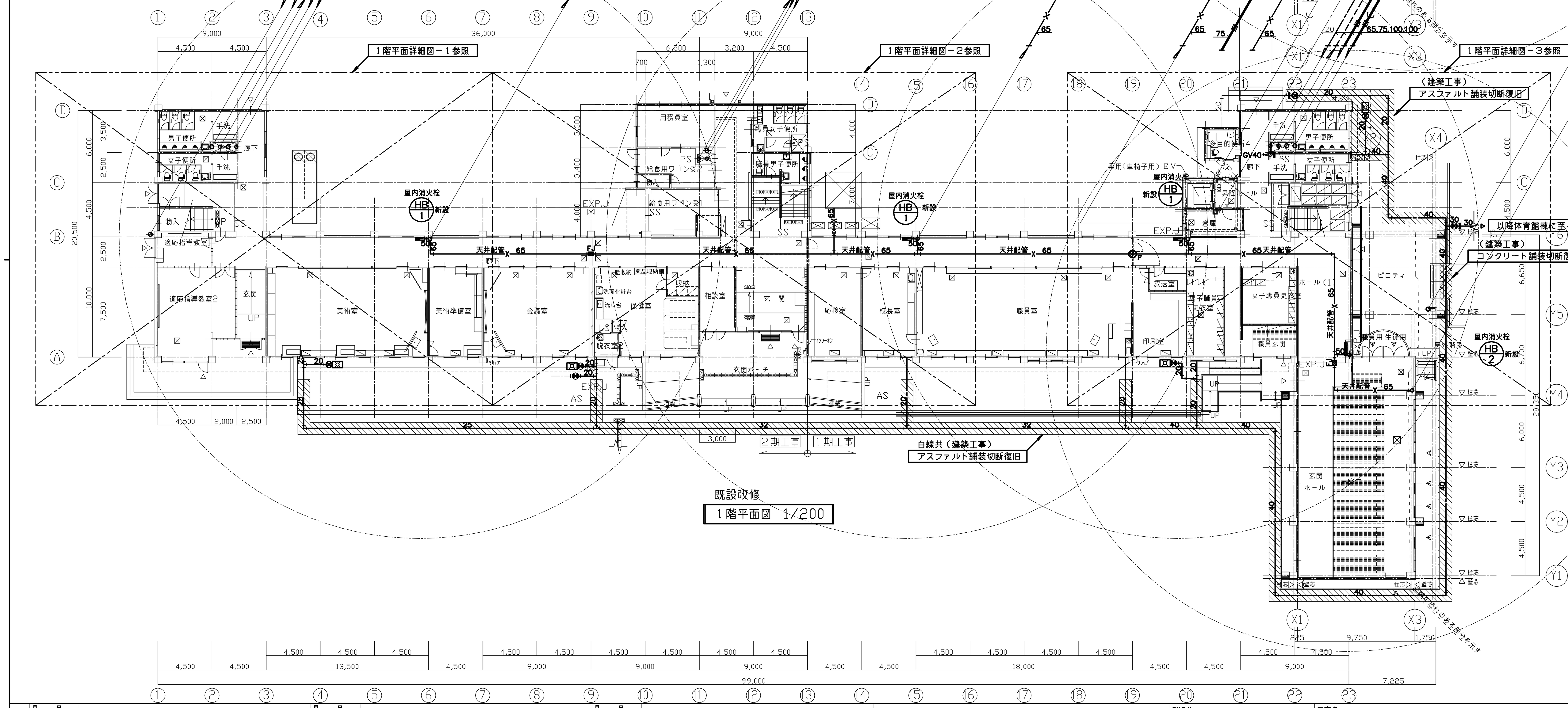
建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 8/48
既設改修　衛生設備系統図	1：	
	1：	





凡　例	
═══	鉄筋コンクリート壁
┬┬┬	軽量鉄骨間仕切壁
▨	CB壁
屋消	屋内消火栓設置位置を示す
消	10型消火器（ボックス共）設置位置を示す
避難	避難はしご設置位置を示す
＊＊	設計GLからの仕上げ高さを示す
EXP.J	ステンレス製
	外部及び面積区画部分は耐火仕様とする
特煙	特定防火設備　煙感知機連動
特	特定防火設備
防	防火設備
竪穴区画	コンクリート壁ｱ150以上
面積区画	コンクリート壁ｱ150又は
	LGS下地強化PBｱ15+15（両面）
水平区画	コンクリートスラブｱ150
――	防火区画（竪穴・異種用途）
――	防火上主要な間仕切り
⊙ ⊙	断面切断位置
＝ ＝	工事期間中　仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）

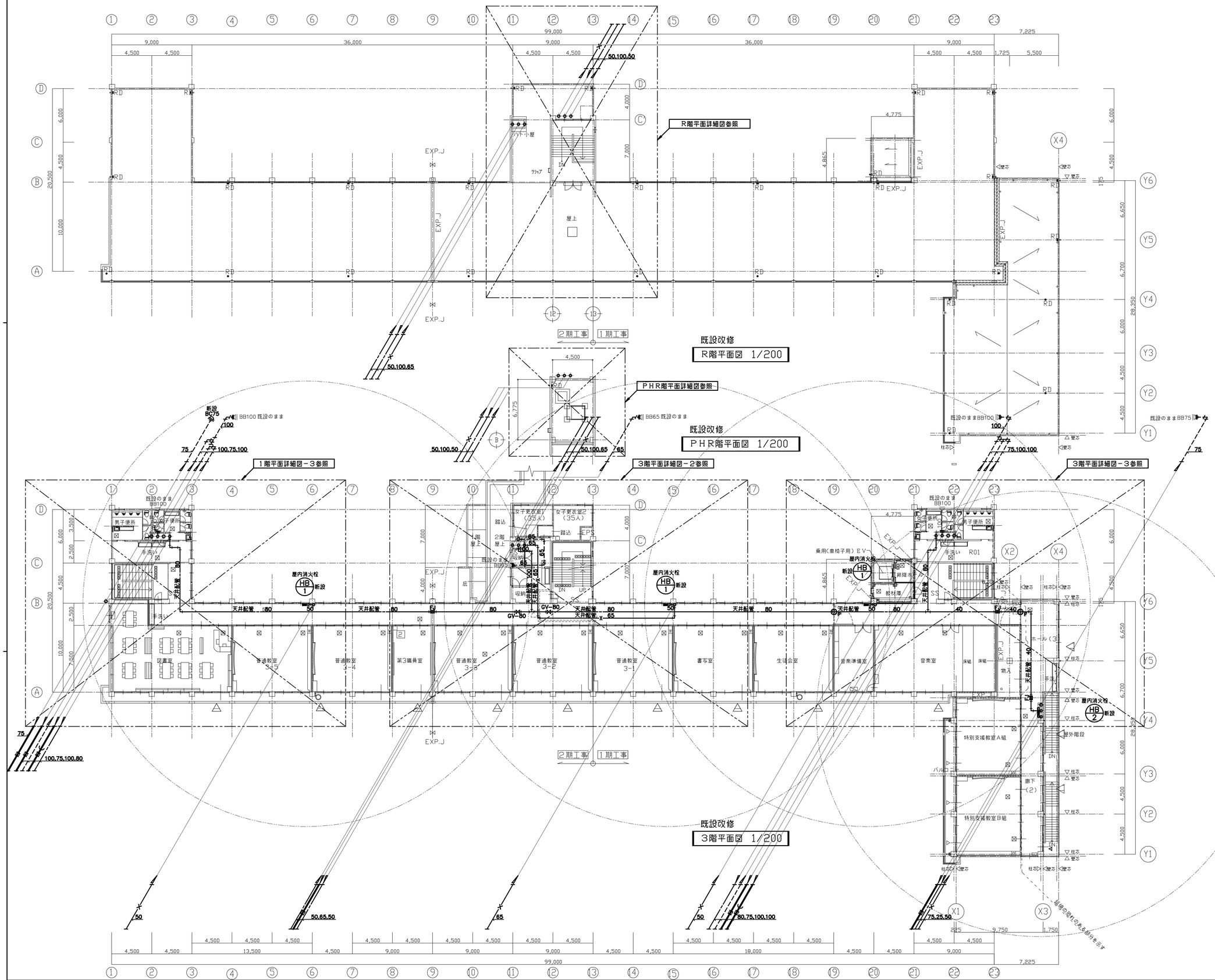
特記事項（既設改修）
１）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線は既設を示す。
２）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
３）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
４）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
５）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で はつり工事をする事。
６）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
７）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
８）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
９）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。
11）凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
満水継手
アスファルト舗装切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）
コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）
12）ＰＳは竪穴区画の為、ＰＳ内作業は足場を組み施工のこと。
13）1期工事と2期工事との接続替えは施設の運営に支障無き様施工の事。

凡　例		
記号	名称	備考
―・―・―	屋外給水管　屋外埋設配管	耐衝撃性塩化ビニール管　HIVP
―・―・―	屋内給水管　屋内埋設配管	塩化ビニールライニング鋼管　HIVP
―・―・―	屋内給水管　屋内配管	塩化ビニールライニング鋼管　HIVP
━━━	屋外排水管	塩化ビニール管　VU
━━━	屋内埋設排水管	塩化ビニール管　VP
━━━	屋内雑排水管	塩化ビニール管　VP
━━→━	屋内汚水管	塩化ビニール管　VP
‐‐‐‐‐	通気管	塩化ビニール管　VP
━━━	防火区画貫通部分排水管	耐火二層管　FDVP
――G――	屋外露出ガス管	配管用炭素鋼鋼管　（白）　SGP-B
――G――	埋設ガス管	ガス用ポリエチレン被覆鋼管　PLS
――G――	屋外露出、隠蔽ガス管	配管用炭素鋼鋼管　（白）　SGP-B
――X――	消火配管　（屋内消火栓用）	配管用炭素鋼鋼管　（白）　SGP-B
――X――	消火配管　（地中埋設配管）	消火用塩ビライニング被覆鋼管　SGP-VS
――I――	給湯管　（往き）	保温付被覆鋼管　（ M ）CU

訂正	月・日		月・日		月・日	
	・		・		・	
	・		・		・	
	・		・		・	

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.	工事名		SCALE	No.
	浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）	機械設備工事	1 :	M
		衛生設備図	1 :	9/48
		既設改修　1、2階平面図	1 : 200(A1)	
	DATE . . :		1 : 400(A3)	



凡	例
	鉄筋コンクリート壁
	軽量鉄骨間仕切壁
	CB壁
屋消	屋内消火栓設置位置を示す
消	10型消火器（ボックス共）設置位置を示す
避難	避難はしご設置位置を示す
EXP.J	ステンレス製
	外部及び面積区画部分は耐火仕様とする
特煙	特定防火設備　煙感知機連動
特	特定防火設備
防	防火設備
	防火区画（竪穴・異種用途）
	防火上主要な間仕切り
	断面切断位置
△	非常用進入口を示す（三角シール貼）
	工事期間中　仮設間仕切り壁（天井裏ｽﾗﾌﾞまで）

特　記　事　項

展開方位	方位
A B C D	N

訂正	月	日		月	日		月	日	

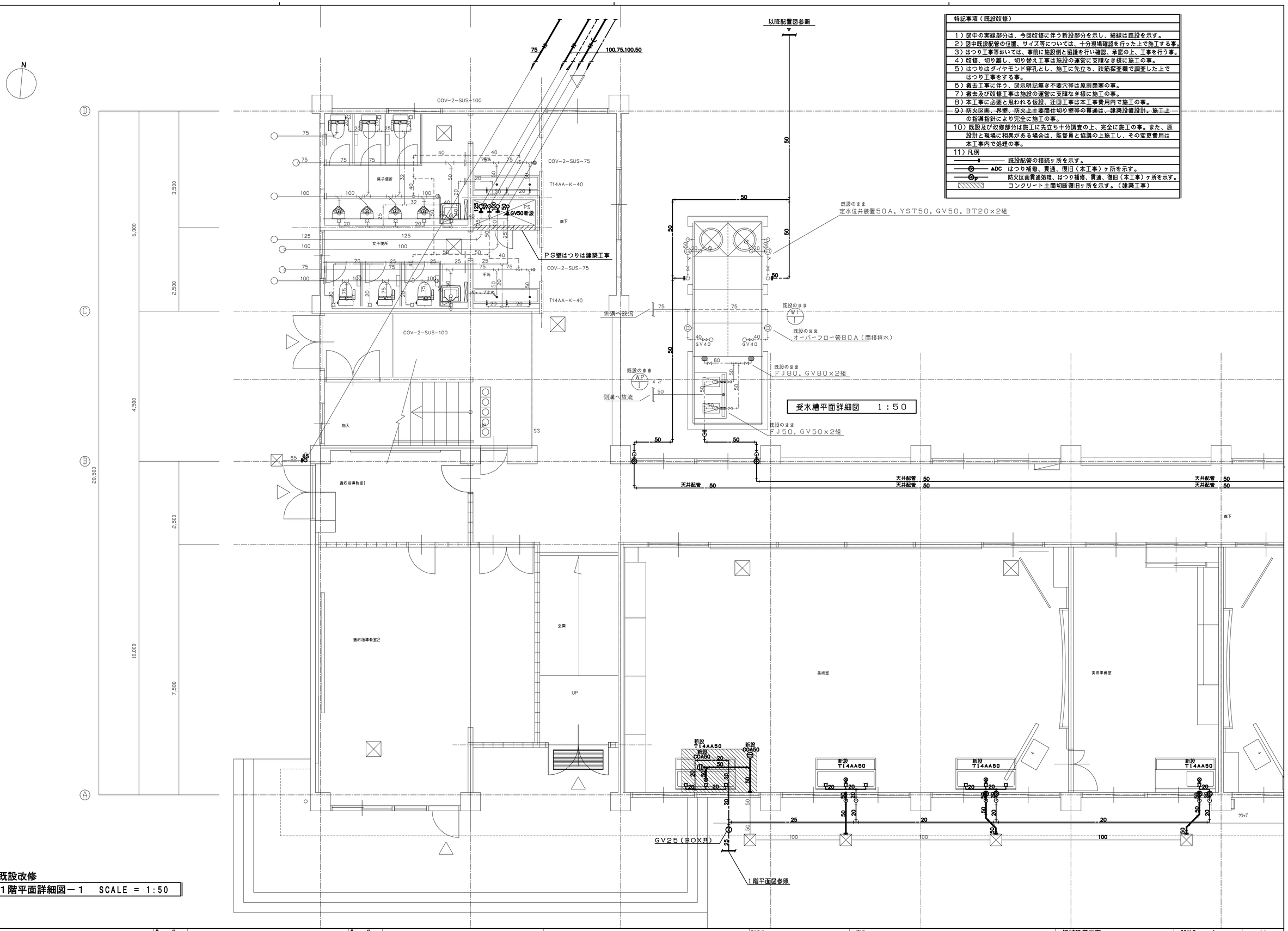
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 10/48
既設改修　3、PHR階、R階平面図	1：200(A1)	
	1：400(A3)	

特記事項（既設改修）
1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上で はつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上 の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原 設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は 本工事内で処理の事。
11）凡例
既設配管の接続ヶ所を示す。
▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）



既設改修

1階平面詳細図ー1　SCALE = 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

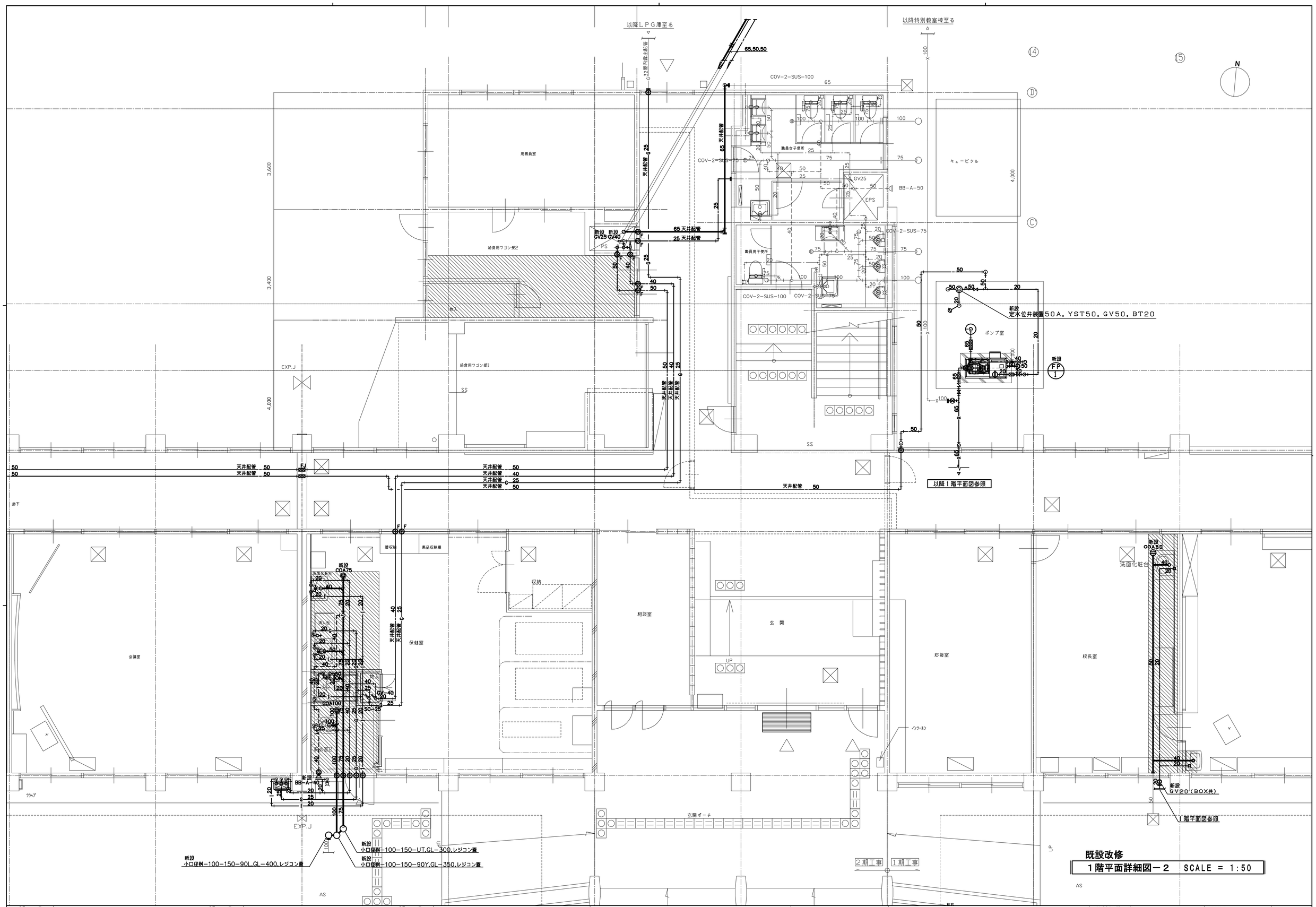
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名 浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1：	M
衛生設備図	1：	No. 11/48
既設改修　1階平面詳細図ー1	1：50(A1)	
	1：100(A3)	



既設改修

１階平面詳細図－２　SCALE ＝ 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

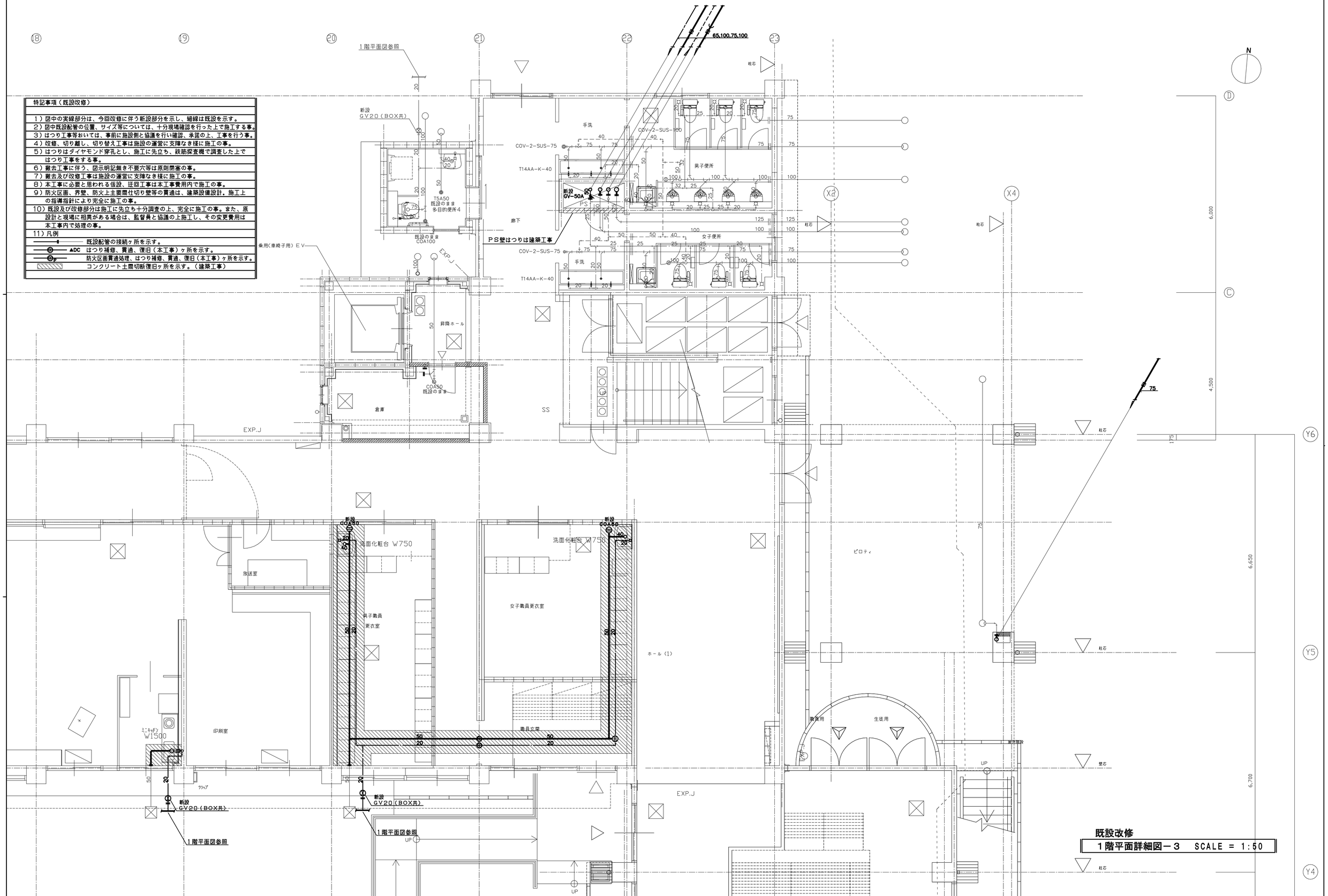
機械設備工事	SCALE	1：	M
衛生設備図		1：	No. 12/48
既設改修　１階平面詳細図－２		1：50(A1)	
		1：100(A3)	

特記事項（既設改修）

1）図中の実線部分は、今回改修に伴う新設部分を示し、細線は既設を示す。
2）図中既設配管の位置、サイズ等については、十分現場確認を行った上で施工する事。
3）はつり工事等おいては、事前に施設側と協議を行い確認、承諾の上、工事を行う事。
4）改修、切り離し、切り替え工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
5）はつりはダイヤモンド穿孔とし、施工に先立ち、鉄筋探査機で調査した上ではつり工事をする事。
6）撤去工事に伴う、図示明記無き不要穴等は原則閉塞の事。
7）撤去及び改修工事は施設の運営に支障なき様に施工の事。
8）本工事に必要と思われる仮設、迂回工事は本工事費用内で施工の事。
9）防火区画、界壁、防火上主要間仕切り壁等の貫通は、建築設備設計。施工上の指導指針により完全に施工の事。
10）既設及び改修部分は施工に先立ち十分調査の上、完全に施工の事。また、原設計と現場に相異がある場合は、監督員と協議の上施工し、その変更費用は本工事内で処理の事。

11）凡例

- 既設配管の接続ヶ所を示す。
- ▲DC はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
- 防火区画貫通処理、はつり補修、貫通、復旧（本工事）ヶ所を示す。
- コンクリート土間切断復旧ヶ所を示す。（建築工事）



既設改修

1階平面詳細図－3　SCALE = 1:50

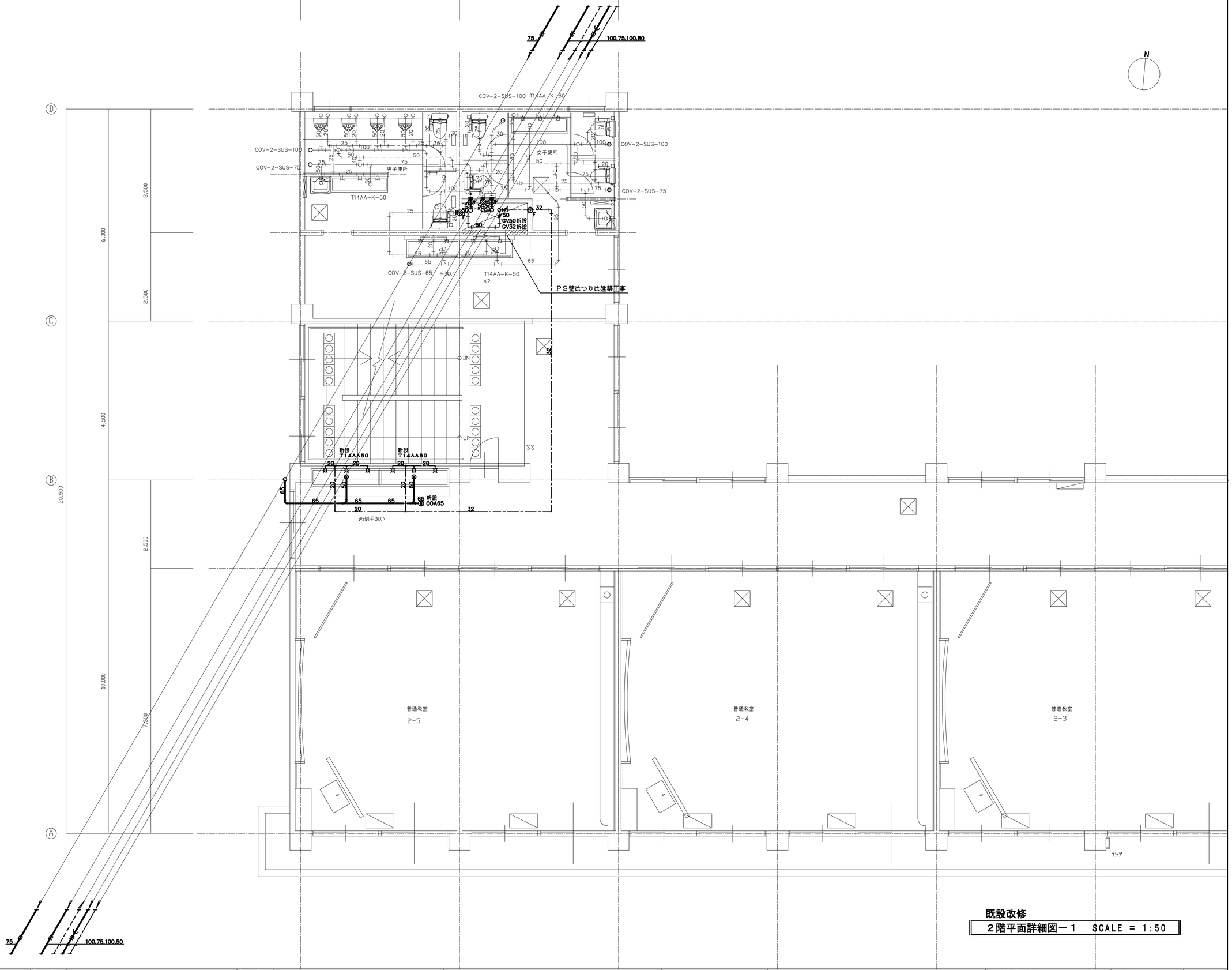
訂正	月	日	月	日	月	日

建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

FILE No.

工事名：浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	No. 13/48
衛生設備図	1 :	
既設改修　1階平面詳細図－3	1 : 50(A1)	
	1 : 100(A3)	



既設改修

２階平面詳細図－１　SCALE = 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

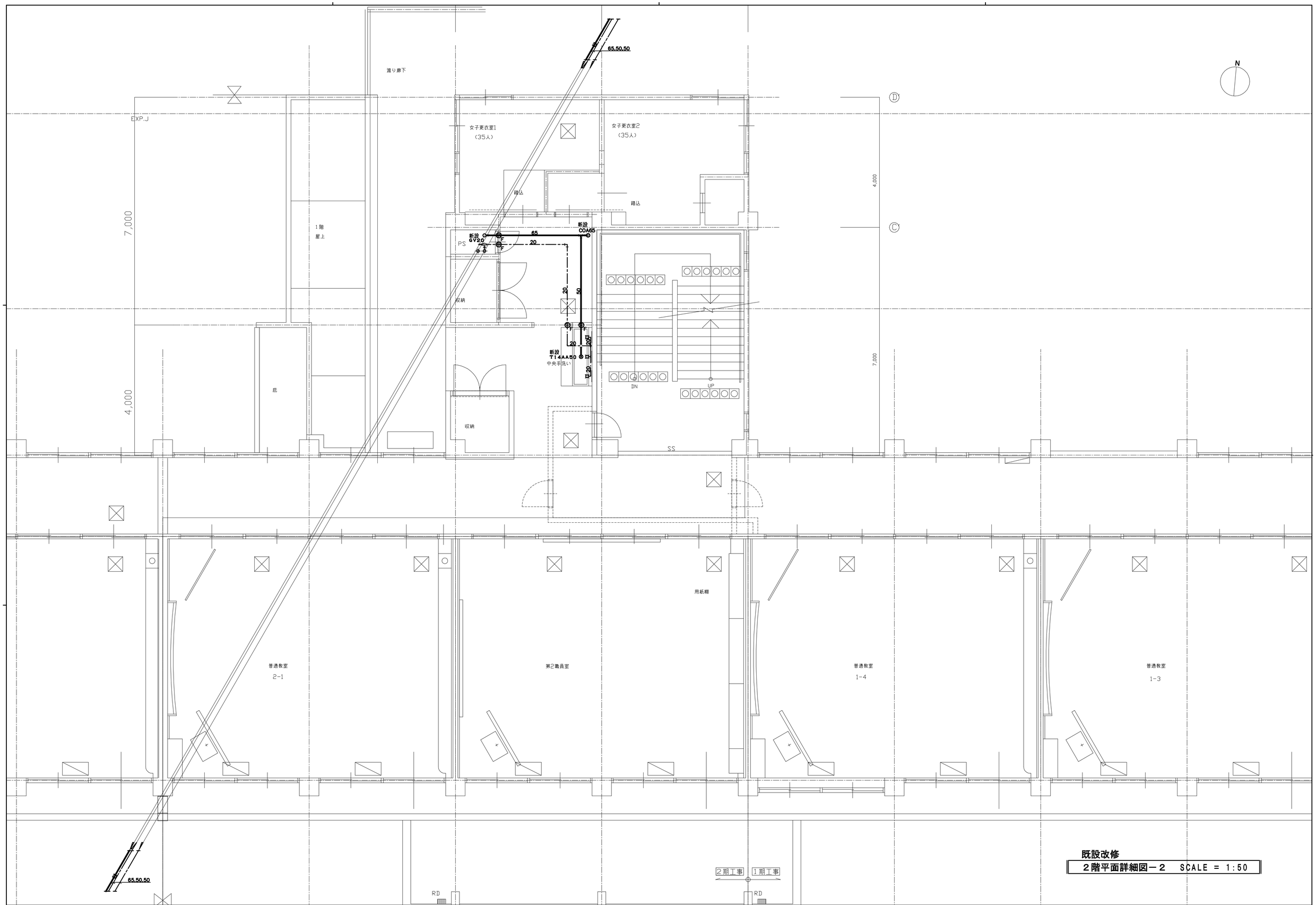
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	M
衛生設備図	1 :	No. 14/48
既設改修　２階平面詳細図－１	1 : 50(A1)	
	1 : 100(A3)	



既設改修
2階平面詳細図－2　SCALE = 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

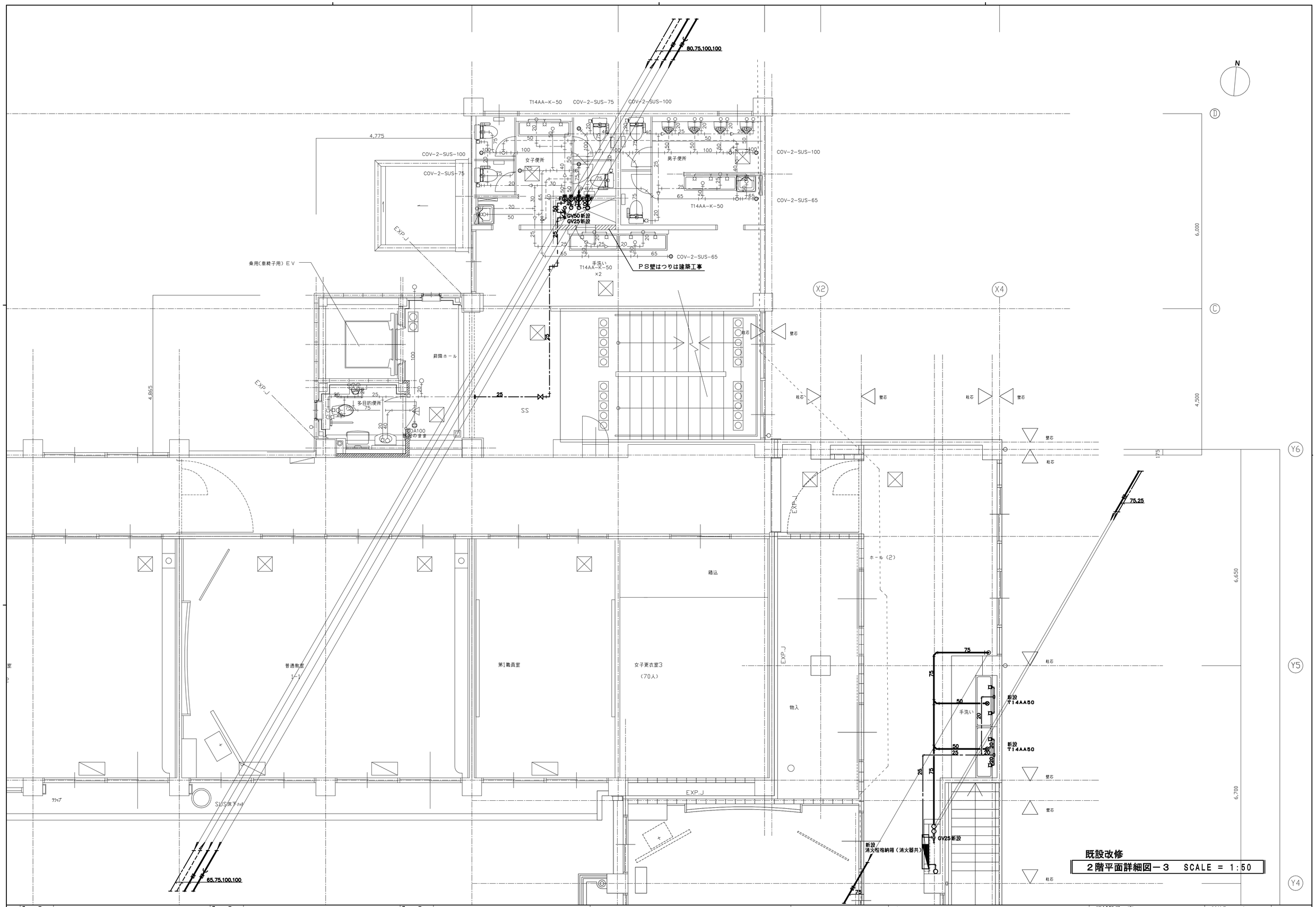
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山 本 勝 義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
衛生設備図		1 :	No. 15/48
既設改修　2階平面詳細図－2		1 : 50(A1)	
		1 : 100(A3)	



訂正	月	日		月	日		月	日	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

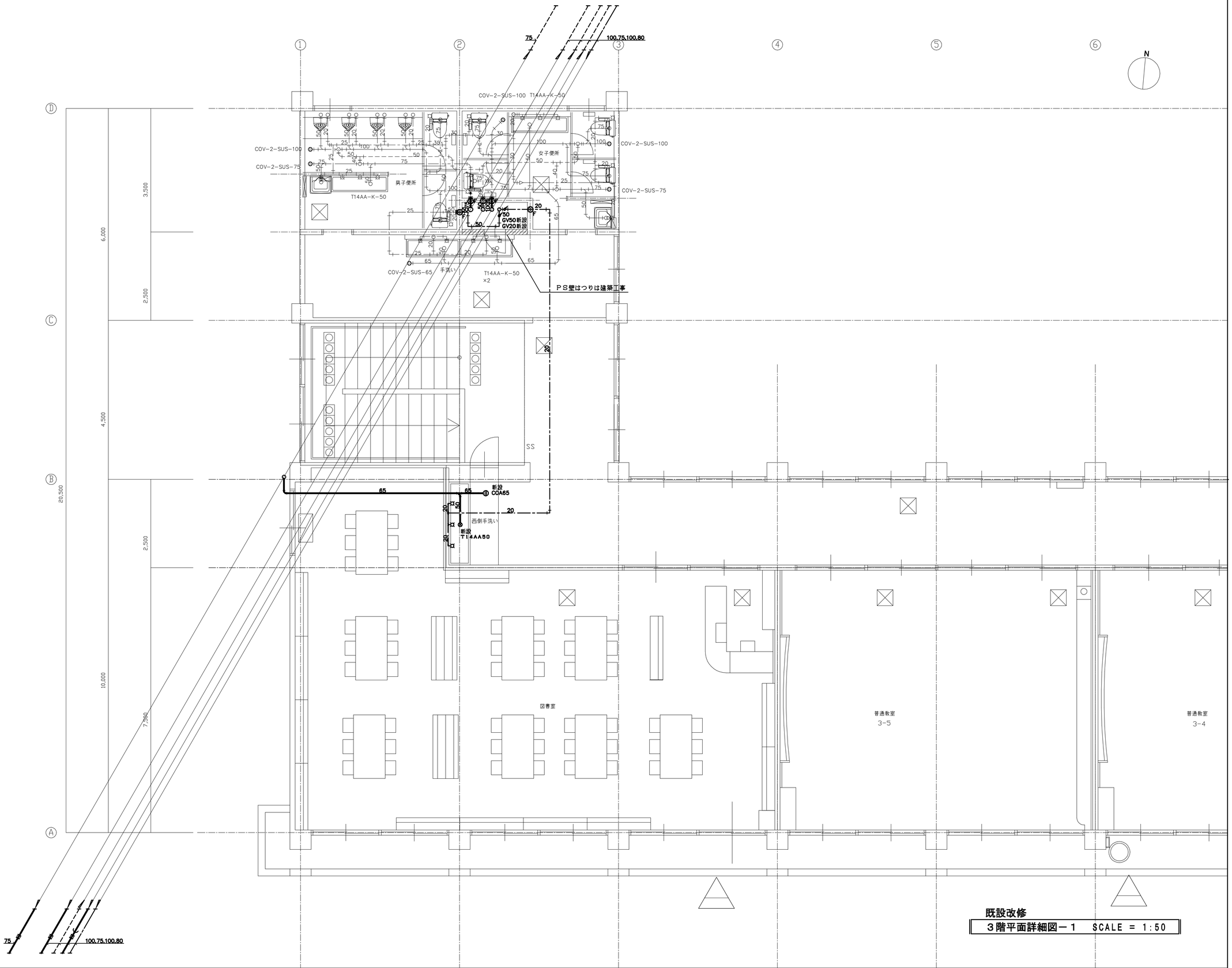
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山 本 勝 義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	No. 16/48
衛生設備図	1 :	
既設改修 2階平面詳細図ー3	1 : 50(A1)	
	1 : 100(A3)	

M



既設改修

３階平面詳細図－１　SCALE = 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日

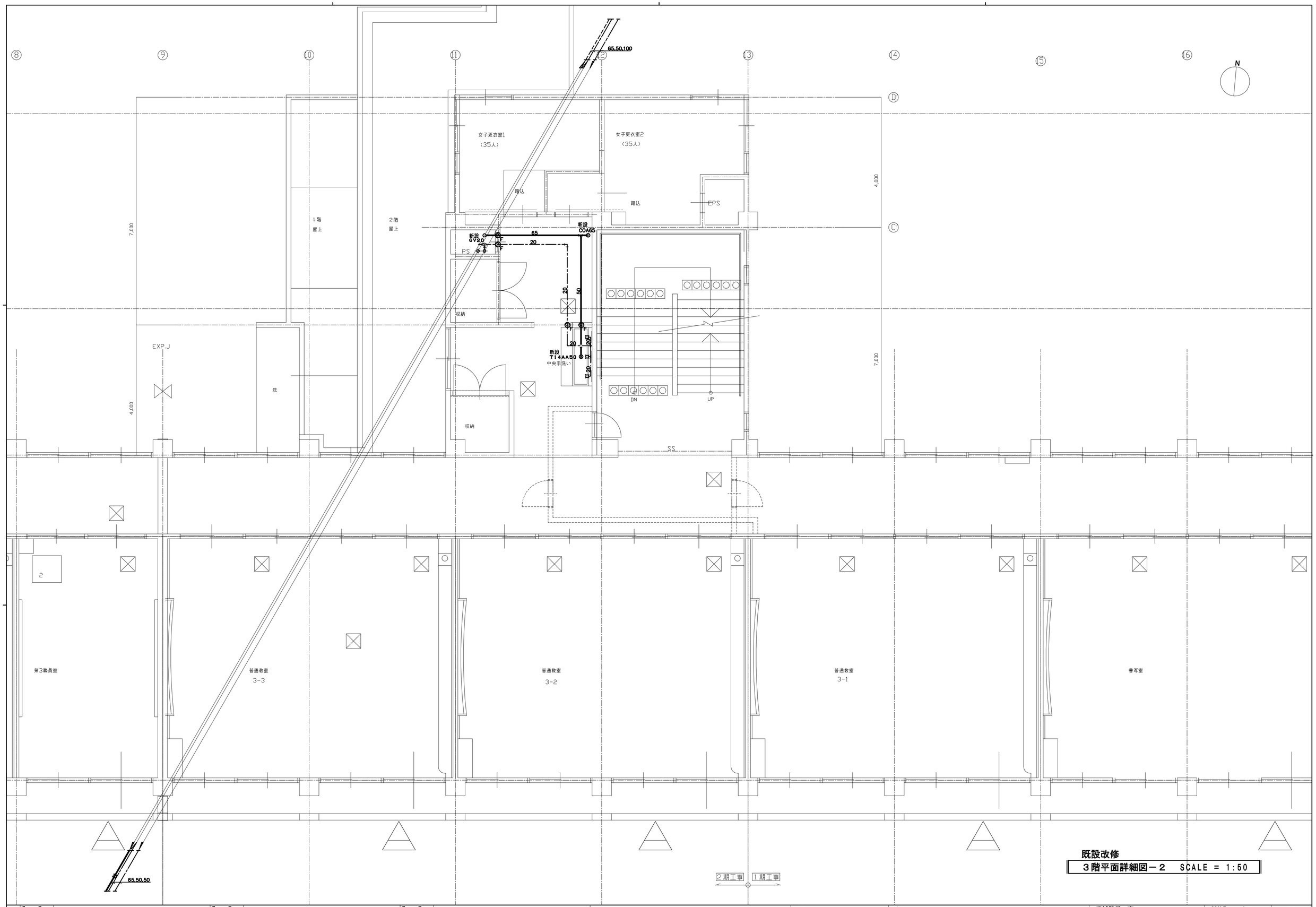
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	M
衛生設備図	1 :	No. 17/48
既設改修　３階平面詳細図－１	1 : 50(A1)	
	1 : 100(A3)	



既設改修

３階平面詳細図－２　SCALE ＝ 1:50

訂正	月 日	月 日	月 日	建築事務所 BCY'S 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義

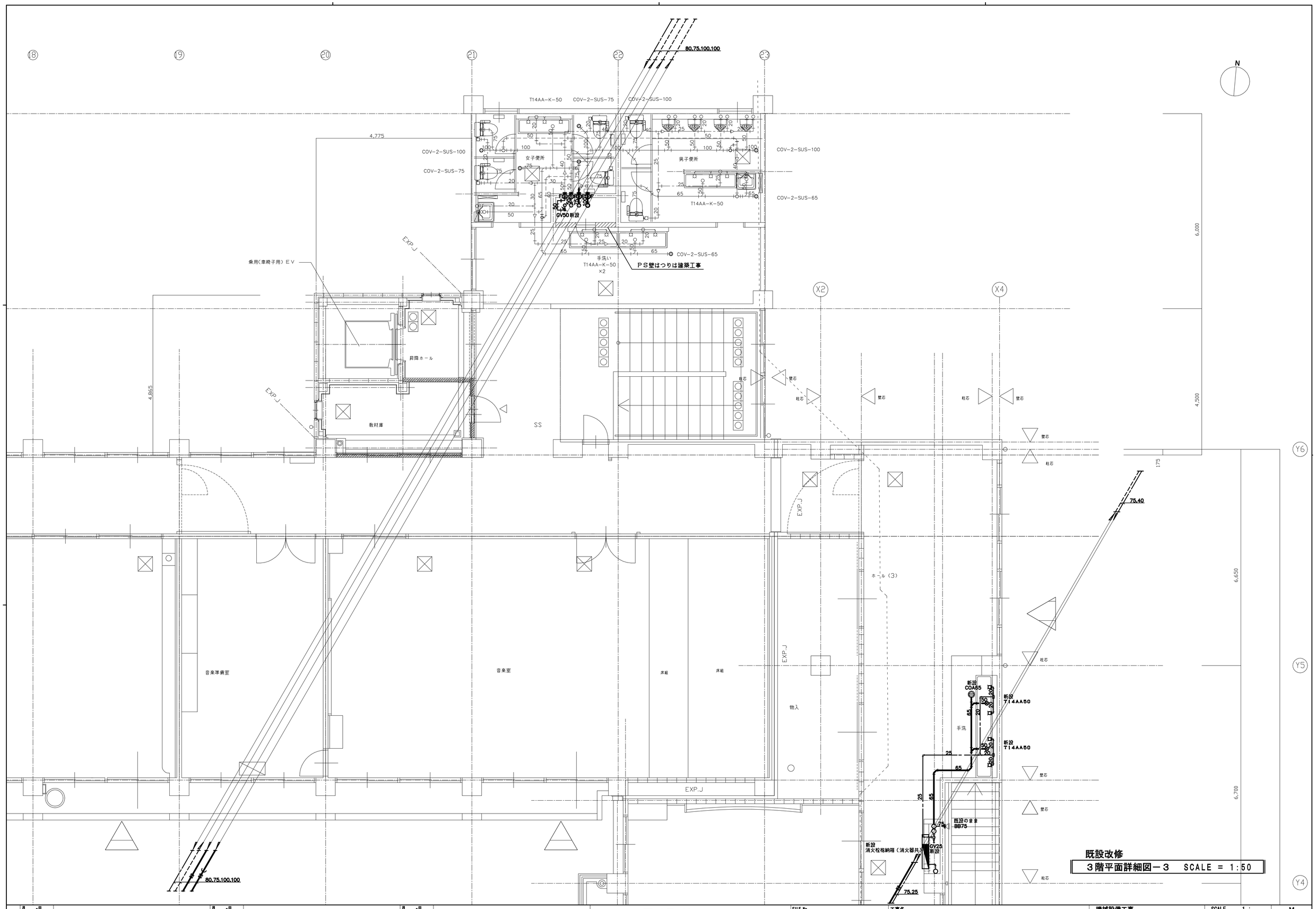
FILE No.

工事名

浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE 1 :	M
衛生設備図	1 :	No. 18/48
既設改修　３階平面詳細図－２	1 : 50(A1)	
	1 : 100(A3)	



既設改修

３階平面詳細図－３　SCALE = 1:50

訂正	月	日		月	日		月	日	

建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

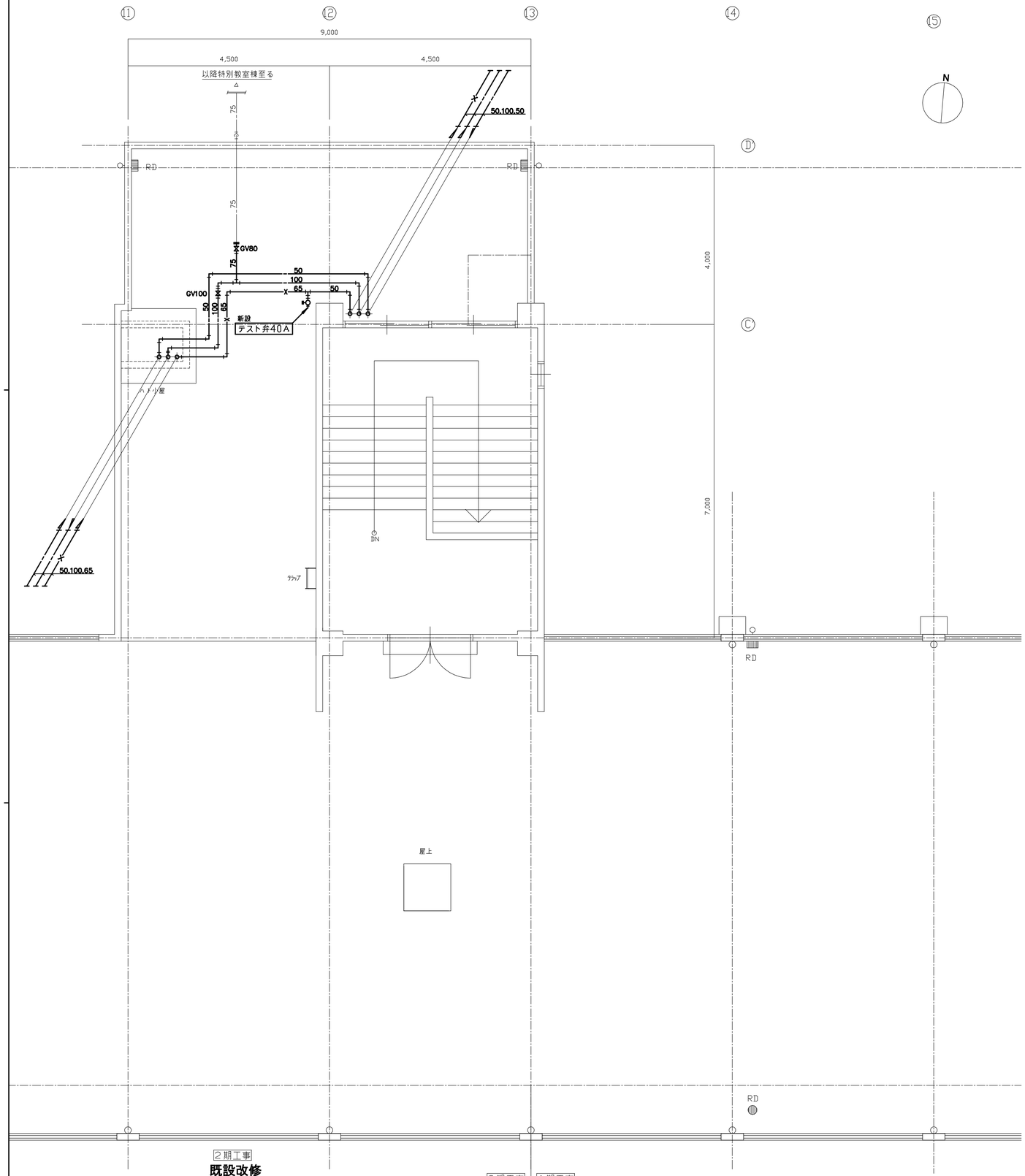
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山 本 勝 義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）

DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
衛生設備図		1 :	No. 19/48
既設改修　３階平面詳細図－３		1 : 50(A1)	
		1 : 100(A3)	

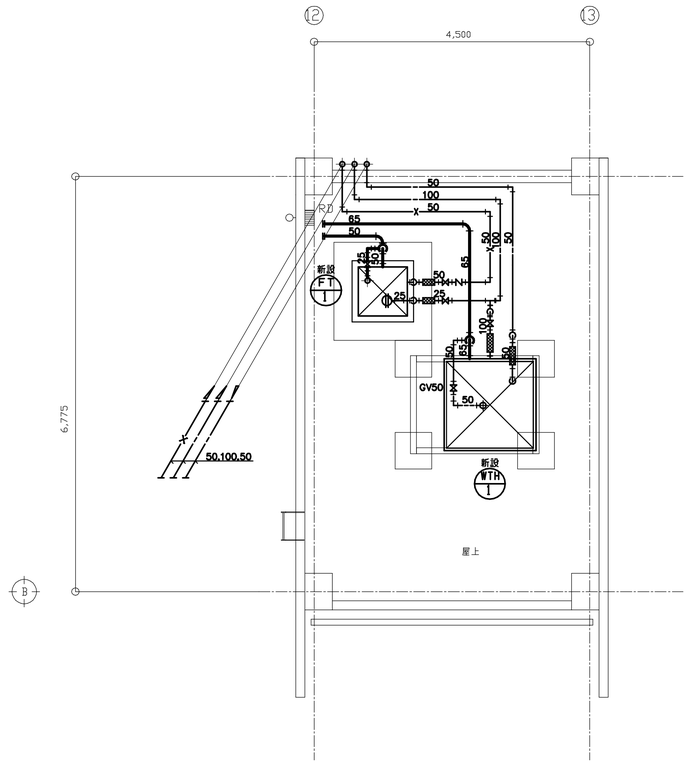


2期工事

既設改修

R階平面詳細図　SCALE = 1:50

2期工事　1期工事



2期工事

既設改修

PHR階平面詳細図　SCALE = 1:50

訂正	月	日		月	日		月	日	
	・			・			・		
	・			・			・		
	・			・			・		

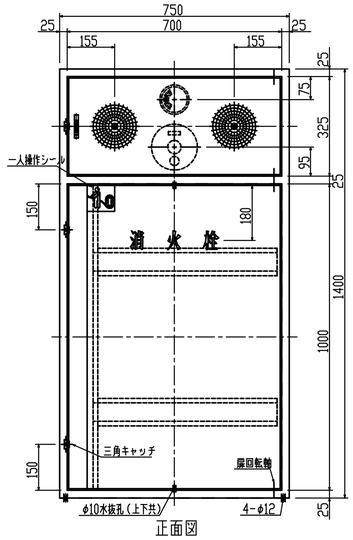
建築事務所 BCY'S
株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

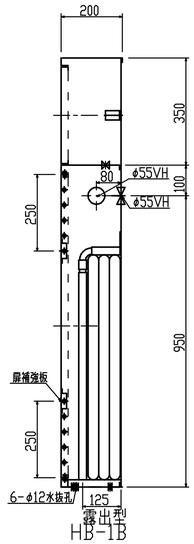
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

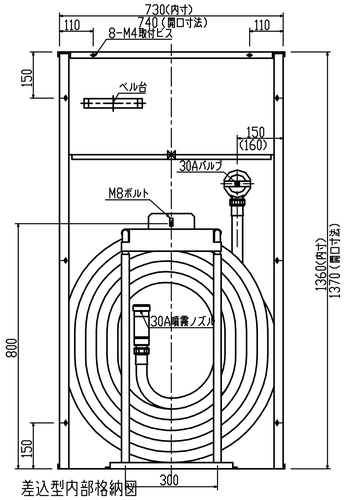
FILE No.

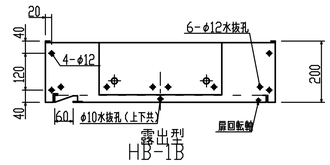
工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE . . :

機械設備工事	SCALE	1 :	M
衛生設備図		1 :	No. 20/48
既設改修　R階、PHR階平面詳細図		1 : 50(A1)	
		1 : 100(A3)	

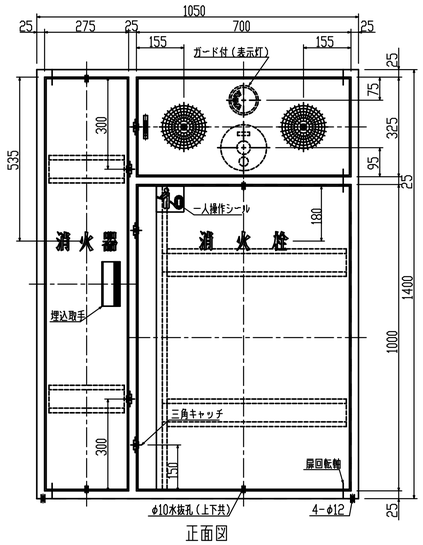


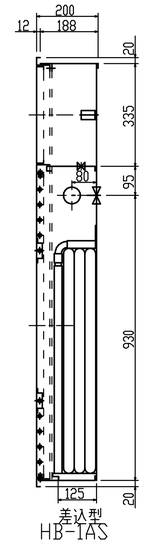


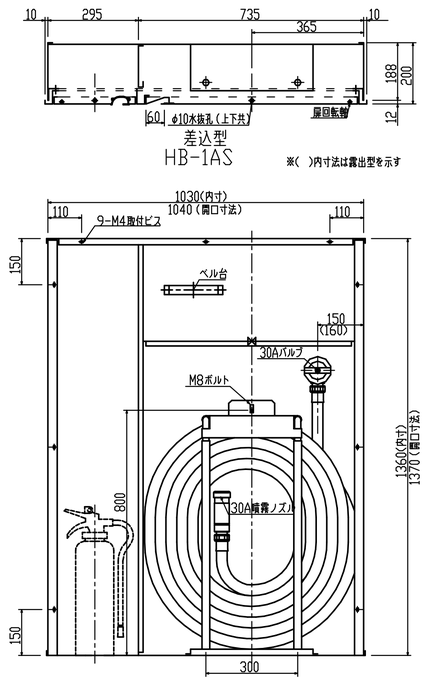




設計記号　HB－1		国土交通省型易操作性１号消火栓格納箱(HB-1B)	
仕様		内部格納品	
材料	t1.6表面処理鋼板	バルブ　30A X 90°(配管接続口 40A)	1個
塗装	メラミン樹脂焼付	噴霧ノズル　30A　噴霧切換ノズル	1本
塗色	指定色塗装	保形ホース　30A X 30M	1本
文字	明朝体ラッカー刷込	起動方法　バルブ連動方式	
		圧力損失　ホース（30m）＋ノズル　＝24mAq	







※（　）内寸法は露出型を示す

設計記号　HB－2		国土交通省型消火器併用易操作性１号格納箱（HB－1AS）	
仕様		内部格納品	
材料	t1.6表面処理鋼板	バルブ　30A X 90°(配管接続口 40A)	1個
塗装	メラミン樹脂焼付	噴霧ノズル　30A　噴霧切換ノズル	1本
塗色	指定色塗装	保形ホース　30A X 30M	1本
文字	明朝体ラッカー刷込	起動方法　バルブ連動方式	
		圧力損失　ホース（30m）＋ノズル　＝24mAq	

訂正	月 日	月 日	月 日
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・

建築事務所 BCY'S
株式会社　ビルディング・コンサルタントワイズ
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本　勝義

FILE No.

工事名
浅井中学校南校舎長寿命化改修工事（機械設備）
DATE　.　.　:

機械設備工事	SCALE　1：	M
衛生設備図	1：	No. 21/48
屋内消火栓格納箱詳細図	1：20(A1)	
	1：40(A3)	